

目 次

あいさつ	1
前 言	2
平成16年度主要記事	4
展示事業	5
アート・コレクション展	6
企画展	
普及事業	
コンサート・美術館講座他	
情報資料室・実技講座他	
美術めぐりの旅・活動協力他	
調査・収集事業	
収蔵資料	28
管理運営・運営方針	32
組 織	33
平成16年度職員・協議会委員	34
利用状況	35
展示室利用団体	36
館 設	38
利用案内	43

平成
16

CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

千葉県立美術館 年報 NO. 31

April 2004–March 2005

ANNUAL BULLETIN OF
CHIBA PREFECTURAL
MUSEUM OF ART

目 次

あいさつ	1
沿 革	2
平成16年度主要記事	4
展示事業	5
アート・コレクション展	6
企画展	18
普及事業	20
コンサート・美術館講座他	21
情報資料室・実技講座他	24
美術めぐりの旅・活動協力他	23
調査・収集事業	27
収蔵資料	28
管理運営・運営方針	32
組 織	33
平成16年度職員・協議会委員	34
利用状況	35
展示室利用団体	36
施 設	38
利用案内	43

あいさつ

平成16年度の千葉県立美術館における活動の実績を年報としてまとめました。

本館は昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民のさまざまな美術に対する要望にこたえるよう努めてまいりました。

16年度は企画展として「漁民を描く - 渡辺學の世界」と、県内1ヶ所を会場に「第28回千葉県移動美術館」を開催いたしました。

本館が収蔵する作品の展示については、「房総と近代美術」を中心に、種々のテーマに基づいた収蔵作品による企画展を開催いたしました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会を開催し、さらに、こどもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうため、「ワークショップ」、「一日学芸員体験学習」、「学校巡回展」を開催いたしました。また、美術の各分野にわたる実技講座を実施し、ますます高まっている県民の美術創作への意欲にこたえてまいりました。

作品収集にあたっては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実化を図りました。今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の指導と支援をお願いいたします。

平成17年6月

千葉県立美術館長

米田耕司

■ 沿 革

とその師弟展」を開催

- | | | | |
|-------------|--|-------------|--|
| 1969年12月9日 | 第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名） | 1976年6月7日 | 寄付によって、正面玄関植栽 |
| 1970年1月19日 | 県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決 | 1977年3月12日 | 彫刻の野外展示開始 |
| 1970年7月24日 | 建設地として千葉公園に内定 | 1977年4月10日 | 展示棟の一室に美術普及室を開設 |
| 1970年11月12日 | 第1回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名） | 1978年1月18日 | 外構工事として、駐車場拡張（97台） |
| 1971年3月31日 | 千葉公園内の美術館基本構想成立 | 1978年2月21日 | 美術普及棟の準備会発足 |
| 1971年6月24日 | 体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示 | 1978年10月17日 | 美術普及棟建築予算を計上 |
| 1972年1月5日 | 建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換 | 1978年11月18日 | 浅井忠像完成除幕式 |
| 1972年3月31日 | 基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所） | 1978年11月30日 | 美術普及棟実施設計完了 |
| 1972年7月31日 | 展示棟第1期工事の実施設計完了 | 1979年1月8日 | 美術普及棟を県民アトリエ棟と改称 |
| 1972年9月21日 | 展示棟杭打工事着工 | 1979年3月5日 | 県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決 |
| 1972年10月13日 | 展示棟建築工事請負契約議案可決 | 1979年3月22日 | 県民アトリエ棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店） |
| 1972年12月10日 | 展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店） | 1980年2月29日 | 県民アトリエ棟竣工 |
| 1973年4月1日 | 文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始 | 1980年3月16日 | 県民アトリエ棟完成記念講演会 |
| 1973年11月30日 | 管理棟（第2期工事）の実施設計完了 | 1980年4月1日 | 千葉県美術品取得基金条例施行 |
| 1974年3月31日 | 展示棟竣工 | 1980年9月9日 | 県民アトリエ棟情報資料室開設 |
| 1974年4月1日 | 千葉県立美術館発足（職員14名） | 1983年7月29日 | 美術普及コーナー開設 |
| 1974年10月23日 | 開館記念式典開催 | 1983年11月12日 | 開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立 |
| 1974年10月24日 | 開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始 | 1986年2月25日 | 展示棟、收藏庫、機械室増築工事設計予算化 |
| 1975年2月21日 | 管理棟杭打工事着工 | 1986年4月10日 | 入口門扉4ヶ所設置 |
| 1975年3月13日 | 管理棟建築工事請負契約議案可決 | 1986年4月23日 | 美術館西側沿道寄り生垣植栽 |
| 1975年3月16日 | 管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店） | 1986年8月12日 | 講堂浸水防止工事完了 |
| 1976年2月20日 | 管理棟竣工 | 1987年3月25日 | 機械室増築基本設計及び展示棟、收藏庫、機械室増築工事実施設計完了 |
| 1976年3月2日 | 管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催 | 1987年10月15日 | 展示棟、收藏庫、機械室増築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店） |
| | | 1988年5月20日 | 受水槽設備改修工事（地上式）着工 |
| | | 1988年8月31日 | 受水槽設備改修工事（地上式）完了 |
| | | 1988年8月31日 | 展示棟（第8展示室）、收藏庫（第3・4室）、機械室増築工事完了 |

- | | | | |
|-------------|-------------------------------|-------------|------------------------------------|
| 1989年2月28日 | 増築展示棟周辺芝張工事完了 | 1999年6月5日 | 開館25周年記念特別展「ヒュー
ストン美術館展」を開催 |
| 1989年4月1日 | 普及課が新設され、3課で業務
実施 | 2000年3月30日 | 屋根材剥落補修工事完了 |
| 1989年4月20日 | 開館15周年記念特別展「房総と
近代美術」を開催 | 2000年3月30日 | 点字ブロック設置工事完了 |
| 1989年9月11日 | 空調機改修工事实施設計完了 | 2000年7月31日 | 文部省委嘱事業「親しむ博物館
づくり事業」受託 |
| 1990年6月8日 | 空調機改修工事完了 | 2001年3月29日 | 屋根材剥落補修工事（第7展示
室）完了 |
| 1990年9月29日 | 収蔵庫（第1・2室）冷凍機改修
工事着工 | 2002年3月25日 | 屋根材剥落補修工事（第6展示
室）完了 |
| 1990年11月7日 | 室内標識改修工事着工 | 2002年3月25日 | 非常灯用直流電源装置改修工事
完了 |
| 1991年1月31日 | 収蔵庫（第1・2室）冷凍機改修
工事完了 | 2002年3月25日 | 防犯カメラ改修工事完了 |
| 1991年2月20日 | 室内標識改修工事完了 | 2002年10月31日 | 空調設備改修工事基本設計完了 |
| 1991年12月6日 | 空調用ポンプ改修工事完了 | 2002年12月20日 | 直流電源装置蓄電池改修工事完
了 |
| 1992年4月1日 | 運営の一部が（財）千葉県社会
教育施設管理財団へ委託 | 2003年3月25日 | 空調設備改修工事实施設計完了 |
| 1992年10月20日 | 温湿度記録装置改修工事完了 | 2003年7月10日 | 空調設備補修工事完了 |
| 1992年12月18日 | 食堂改修工事完了 | 2004年4月18日 | 来館者 500 万人達成 |
| 1994年7月23日 | 開館20周年記念特別展「房総の
美術」を開催 | 2004年11月27日 | 開館30周年記念企画展「漁民を
描く - 渡辺學の世界」開催。 |
| 1998年2月23日 | ガス設備改修工事完了 | | |
| 1998年12月24日 | 空調設備補修工事完了 | | |

■平成16年度主要記事

4月1日 アート・コレクション「房総と近代美術」①(～10月11日)、「富取風堂展」(～5月30日)、「新収蔵作品展」(～5月9日)

4月14日 美術館講座(～2月16日)

4月18日 第1回鑑賞教室

4月20日 陶芸講座(5月25日まで 日数6日)

5月15日 アート・コレクション「浜口陽三展」(～7月11日)

5月22日 第1回ワークショップ

5月27日 陶芸経験者講座(6月24日まで 日数6日)

6月5日 アート・コレクション「山の空気・海の香り」(～8月22日)

6月15日 第2回ワークショップ

7月3日 銅版画講座(4日まで 日数2日)

7月17日 企画展「こどものための展覧会」(～8月29日)

7月25日 キッズサマーコンサート

8月5日 博物館実習(～8月10日)

8月7日 第3回ワークショップ①

8月11日 教師のためのアートガイダンス

8月20日 高校生のための美術館セミナー

8月21日 第3回ワークショップ②

8月28日 アート・コレクション「秋の彩り」(～10月11日)
第3回ワークショップ③-1

8月29日 第3回ワークショップ③-2

9月4日 アート・コレクション「工芸・技と美」(～10月11日)

9月9日 金工講座(24日まで 日数10日)

9月18日 第2回鑑賞教室

9月25日 美術めぐりの旅

10月9日 第4回ワークショップ

11月23日 企画展「第28回千葉県移動美術館」(佐原市中央公民館～12月5日)

11月27日 企画展「漁民を描く 渡辺學の世界」(～1月23日)
第5回ワークショップ

12月4日 ミュージアムコンサート

12月12日 企画展関連イベント「いいっぺ! 銚子”まるごと体感”」

12月18日 美術講演会

1月16日 美術館講座による「K・MKS(高校生が見て 感じた 作品)展」(～1月18日)
(株)三越千葉店サテライト展示「渡辺學デッサン展」(～24)

1月27日 版画講座(2月12日まで 日数10日)

1月29日 アート・コレクション「房総と近代美術」②(～3月31日)、「書之美」(～3月27日)、「光へのまなざし」(～4月10日)

2月24日 篆刻講座(3月3日まで 日数6日)

2月19日 第3回鑑賞教室

「房総と近代美術」①-1

会期 平成16年4月1日(木)
～平成16年6月13日(日)

会場 第1・2展示室

開催日数 66日

展示点数 69点

浅井忠と日本洋画・フォンタネージとバルビゾン派

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1 浅井忠 | 藁屋根 | 1887 頃 |
| 2 浅井忠 | 小丹波村 | 1893 |
| 3 浅井忠 | 漁婦 | 1897 |
| 4 浅井忠 | フォンテンブローの夕景 | 1901 |
| 5 浅井忠 | 老母像 | 1906 |
| 6 松岡寿 | 森と小川 | 1895 |
| 7 和田英作 | 塚本靖肖像 | 1901 |
| 8 鹿子木孟郎 | 風景 | |
| 9 都鳥英喜 | 海浜風景 | 1909 |
| 10 石井柏亭 | 聖フランチェスコ寺院 | 1923 |
| 11 安井曾太郎 | 熱海附近 | 1929 |
| 12 梅原龍三郎 | 純子像 | 1937 |
| 13 フォンタネージ | 十月、牧場の夕べ | 1860 |
| 14 フォンタネージ | 木立 | 1870～1872 |
| 15 フォンタネージ | 池と樹木 | 1870～72 頃 |
| 16 ミレー | 垣根に沿って草を食む羊 | 1860 頃 |
| 17 ドービニー | オワーズ川のほとり | 1865 |
| 18 ルソー | バルビゾンの農場 | 1850～55 頃 |

房総ゆかりの洋画家

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1 岸田劉生 | 霽れたる冬之日 | 1917 |
| 2 椿貞雄 | 牡丹 | 1920 |
| 3 椿貞雄 | 黒壺に椿一輪 | 1948 |
| 4 堀江正章 | 耕地整理図 | 1901～02 頃 |
| 5 大野隆徳 | 公園 | 1912 |
| 6 菅谷元三郎 | 母の像 | |
| 7 柳敬助 | 婦人像 | |
| 8 小堀進 | 南欧の丘 | 1962 |
| 9 櫻田精一 | 白い舟 | 1985 |
| 10 笹岡了一 | 天使とヤコブの闘い | 1975 |
| 11 原勝郎 | モンマルトル | 1935 |

描かれた房総

- | | | |
|--------|------------|-----------|
| 1 ビゴー | 稲毛村のわがアトリエ | 1892～97 頃 |
| 2 林倭衛 | 太海 | |
| 3 中西利雄 | 外房風景 | 1936 |

4 服部正一郎 海鹿島山 1957

房総ゆかりの日本画家

- | | | |
|---------|------|--------|
| 1 石井林響 | 漁樵 | 1913 頃 |
| 2 加倉井和夫 | 穀機 | 1967 |
| 3 後藤純男 | 山門雨後 | 1974 |
| 4 関主税 | 晨 | 1984 |

房総ゆかりの工芸家

- | | | |
|--------|----------|------|
| 1 香取秀真 | 烏銅鳳凰香炉 | 1911 |
| 2 津田信夫 | 一點玲瓏 | 1934 |
| 3 信田洋 | 透壺 | 1968 |
| 4 宮之原謙 | 盛上磁葡萄唐草壺 | 1943 |
| 5 山本正年 | 黎明 | 1953 |
| 6 藤田喬平 | 飾篋・しだれ櫻 | 1985 |

房総ゆかりの書家

- | | | |
|--------|--------|------|
| 1 浅見喜舟 | 崔子玉座右銘 | 1967 |
| 2 高澤南総 | 龍虎 | 1988 |
| 3 鈴木方鶴 | 壺中日月長 | 1984 |
| 4 中村象閑 | 万葉二首 | 1994 |

房総ゆかりの彫刻家

- | | | |
|---------|-------|-----------|
| 1 小倉惣次郎 | 伊藤博文像 | 1903～04 頃 |
| 2 高村光太郎 | 裸婦座像 | 1916 頃 |
| 3 高村光太郎 | 手 | 1918 |
| 4 藤野天光 | 希望 | |

2 房総と近代美術① - 2

会期 平成 16 年 6 月 15 日 (火)
～ 8 月 8 日 (日)

会場 第 1・2 展示室

開催日数 60 日

展示点数 50 点

浅井忠と日本洋画・フォンタネージとバルビゾン派

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1 浅井忠 | 藁屋根 | 1887 頃 |
| 2 浅井忠 | 小丹波村 | 1893 |
| 3 浅井忠 | 漁婦 | 1897 |
| 4 浅井忠 | フォンテンローの夕景 | 1901 |
| 5 浅井忠 | 農婦 | 1902 |
| 6 松岡寿 | 森と小川 | 1895 |
| 7 和田英作 | 塚本靖肖像 | 1901 |
| 8 鹿子木孟郎 | 風景 | |
| 9 都鳥英喜 | 海浜風景 | 1909 |
| 10 石井柏亭 | 信州風景 | 1948 |
| 11 安井曾太郎 | 熱海附近 | 1929 |
| 12 梅原龍三郎 | 竹窓読書図 | 1937 |
| 13 フォンタネージ | 十月、牧場の夕べ | 1860 |
| 14 フォンタネージ | 木立 | 1870～72 |
| 15 フォンタネージ | 池と樹木 | 1870～72 頃 |
| 16 フォンタネージ | 森の空地の農婦 | 1865 頃 |
| 17 ミレー | 垣根に沿って草を食む羊 | 1860 頃 |
| 18 トロワイヨン | 河辺の道 | 1860～65 |
| 19 コロー | ナポリ近郊の思い出 | 1860～65 |

房総ゆかりの洋画家

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1 岸田劉生 | 霽れたる冬之日 | 1917 |
| 2 椿貞雄 | 鴨図 | 1955 頃 |
| 3 堀江正章 | 耕地整理図 | 1901～02 頃 |
| 4 板倉鼎 | 金魚 | 1928 |
| 5 菅谷元三郎 | 母の像 | |
| 6 柳敬助 | 婦人像 | |
| 7 小堀進 | 南欧の丘 | 1962 |
| 8 櫻田精一 | 白い舟 | 1985 |
| 9 笹岡了一 | 天使とヤコブの闘い | 1975 |
| 10 原勝郎 | モンマルトル | 1935 |

描かれた房総

- | | | |
|-------|------------|-----------|
| 1 ビゴー | 稲毛村のわがアトリエ | 1892～97 頃 |
|-------|------------|-----------|

- | | | |
|--------|------|------|
| 2 山谷鉄一 | 風 | 1948 |
| 3 三田康 | 廃墟 | 1965 |
| 4 柴田祐作 | 佐原風景 | 1980 |

房総ゆかりの日本画家

- | | | |
|--------|--------|------|
| 1 石井林響 | 梅花書屋 | |
| 2 若木山 | 安房ノ海処女 | 1951 |
| 3 東山魁夷 | 秋深 | 1975 |
| 4 東山魁夷 | 春雪 | 1973 |
| 5 五十嵐幹 | 紅粧 | 1975 |

房総ゆかりの工芸家

- | | | |
|--------|------------|------|
| 1 香取秀真 | 烏銅鳳凰香炉 | 1911 |
| 2 津田信夫 | 一點玲瓏 | 1934 |
| 3 秋山逸生 | 菱華文象嵌長手箱 | 1946 |
| 4 宮之原謙 | 盛上磁葡萄唐草壺 | 1943 |
| 5 神谷紀雄 | 鉄絵銅彩あやめ紋大鉢 | 1986 |
| 6 藤田喬平 | 飾宮・しだれ櫻 | 1985 |

房総ゆかりの書家

- | | | |
|---------|--------|------|
| 1 小川瓦木 | 侃のイメージ | 1963 |
| 2 小暮青風 | 石見の海 | 1979 |
| 3 高澤南総 | 龍虎 | 1988 |
| 4 鈴木方鶴 | 壺中日月長 | 1984 |
| 5 千代倉桜舟 | デスバレイ詩 | 1972 |

房総ゆかりの彫刻家

- | | | |
|---------|-------|-----------|
| 1 小倉惣次郎 | 伊藤博文像 | 1903～04 頃 |
| 2 高村光太郎 | 裸婦座像 | 1916 頃 |
| 3 高村光太郎 | 手 | 1918 |
| 4 藤野天光 | 希望 | |

房総と近代美術① - 3

会期 平成 16 年 8 月 10 日 (火)
～ 10 月 11 日 (月)

会場 第 1・2 展示室

開催日数 55 日

展示点数 49 点

浅井忠と日本洋画・フォンタネージとバルビゾン派

- 1 浅井忠 藁屋根 1887 頃
- 2 浅井忠 小丹波村 1893
- 3 浅井忠 漁婦 1897
- 4 浅井忠 フォンテンブローの夕景 1901
- 5 浅井忠 農婦 1902
- 6 和田英作 塚本靖肖像 1901
- 7 鹿子木孟郎 風景
- 8 石井柏亭 信州風景 1948
- 9 安井曾太郎 熱海附近 1929
- 10 梅原龍三郎 竹窓読書図 1937
- 11 フォンタネージ 牛を追う農婦
- 12 フォンタネージ 河辺の二頭の牛
- 13 フォンタネージ 森の空地の農婦
- 14 ミレー 垣根に沿って草を食む羊 1860 頃
- 15 トロワイヨン 河辺の道 1860 ～ 65
- 16 コロー ナポリ近郊の思い出 1860 ～ 65

房総ゆかりの洋画家

- 1 岸田劉生 霽れたる冬之日 1917
- 2 椿貞雄 八重子像 1918
- 3 堀江正章 耕地整理図 1901 ～ 02 頃
- 4 板倉鼎 金魚 1928
- 5 原勝郎 モンマルトル 1935
- 6 中西利雄 曇り日の離宮と駅 1947
- 7 小堀進 逆光 1974
- 8 原三郎 廃船 1977
- 9 松澤茂雄 海辺の裸婦 1981

描かれた房総

- 1 ビゴー 稲毛村のわがアトリエ 1892 ～ 97 頃
- 2 山谷鉄一 風 1948
- 3 三田康 廃墟 1965
- 4 前嶋實 九十九里初夏 1988

房総ゆかりの日本画家

- 1 若木山 安房ノ海処女 1951
- 2 富取風堂 麦秋 1971
- 3 東山魁夷 春雪 1973
- 4 大森運夫 時空往還 1983

房総ゆかりの工芸家

- 1 香取秀真 霊獣文大花瓶
- 2 津田信夫 月下妖麗
- 3 宮之原謙 盛上磁葡萄唐草壺 1943
- 4 信田洋 金冠銅瓶 1980
- 5 藤田喬平 飾宮・しだれ櫻 1985
- 6 神谷紀雄 鉄絵銅彩葡萄紋大鉢 1987

房総ゆかりの書家

- 1 小暮青風 石見の海 1979
- 2 高橋蒼峰 鳴瑟 1982
- 3 浅見錦龍 良寛の詩 1968
- 4 千代倉桜舟 デスバレイ詩 1972

房総ゆかりの彫刻家

- 1 高村光太郎 裸婦座像 1916 頃
- 2 高村光太郎 手 1918
- 3 藤野天光 希望
- 4 鈴木章 七面鳥 1932

房総と近代美術②-1

会期 平成17年1月29日(土)
~3月6日(日)

会場 第1・2展示室

開催日数 32日

展示点数 39点

房総ゆかりの日本画家

- | | | |
|---------|---------|------|
| 1 西村昭二郎 | 新雪 | 1984 |
| 2 松尾敏男 | 歷程 | 1984 |
| 3 時田直善 | 憩い/鴿その六 | 1987 |
| 4 東山魁夷 | 春雪 | 1973 |

房総ゆかりの工芸家

- | | | |
|--------|--------|------|
| 1 津田信夫 | 鶯 | 1939 |
| 2 香取正彦 | 臚銀玉錯花瓶 | 1979 |
| 3 宮之原謙 | 彩盛百合文壺 | 1974 |
| 4 岩田久利 | 花器 | 1976 |

房総ゆかりの彫刻家

- | | | |
|---------|---------|------|
| 1 高村光太郎 | 手 | 1918 |
| 2 新海竹太郎 | 老馬 | 1921 |
| 3 鈴木 徹 | さくら貝 | 1978 |
| 4 山本正道 | エトルリアの壺 | 1985 |

房総ゆかりの洋画家

- | | | |
|---------|-------------|----------|
| 1 ビゴ | 漁師と舟 | 1892~97頃 |
| 2 コラン | 田園詩 | 1903 |
| 3 和田英作 | 塚本靖肖像 | 1901 |
| 4 ローランス | カカッスの幽閉者の解放 | |
| 5 鹿子木孟郎 | 裸女と野花 | |
| 6 石井柏亭 | 冬の朝 | 1909 |
| 7 梅原龍三郎 | 純子像 | 1968 |
| 8 岸田劉生 | 霽れたる冬之日 | 1917 |
| 9 板倉 鼎 | 裸婦 | 1929 |
| 10 西嶋俊親 | 運河清閑 | 1991 |
| 11 齊藤寅彦 | 時の跡 | 1983 |

浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派

- | | | |
|-------|-------------|-------|
| 1 浅井忠 | 藁屋根 | 1887頃 |
| 2 浅井忠 | 漁婦 | 1897 |
| 3 浅井忠 | 小丹波村 | 1893 |
| 4 浅井忠 | フォンテンブローの夕景 | 1901 |

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 5 浅井忠 | 農婦 | 1902 |
| 6 フォンタネージ | 十月、牧場の夕べ | 1860 |
| 7 フォンタネージ | 池と樹木 | 1870~72 |
| 8 ラヴィエ | モレステルの谷 | |
| 9 コロー | フォンテンブローの風景 | 1830~35頃 |
| 10 ミレー | 垣根に沿って草を食む羊 | 1860頃 |
| 11 クールベ | 嵐 | 1865頃 |
| 12 クールベ | 雪の中の小鹿 | 1869頃 |
| 13 ルソー | バルビゾンの農場 | 1850~55頃 |
| 14 ドービニー | オワーズ川のほとり | 1865 |
| 15 ディアズ | 森の中の農婦 | 1868 |
| 16 デュプレ | 森のはずれ | 1860年代 |

房総と近代美術②-2

会期 平成17年3月8日(水)
～4月10日(日)

会場 第1・2展示室

開催日数 21日間

展示点数 38点

房総ゆかりの日本画家

- 1 鈴木鷺湖 蜀栈道図
- 2 高畑郁子 マティスの女たち 1977
- 3 時田直善 憩い/鴿その六 1987
- 4 東山魁夷 春雪 1973

房総ゆかりの工芸家

- 1 津田信夫 鳳翔薫炉 1937
- 2 増村益城 乾漆波文溜塗盛器 1965
- 3 土肥刀泉 釉彩両耳花瓶
- 4 藤田喬平 飾宮・しだれ桜 1985

房総ゆかりの彫刻家

- 1 高村光太郎 手 1918
- 2 新海竹太郎 老馬 1921
- 3 山崎 猛 木馬の詩 1984
- 4 山本正道 エトルリアの壺 1985

房総ゆかりの洋画家

- 1 ビゴー 稲毛村のわがアトリエ 1892～97頃
- 2 コラン 田園詩 1903
- 3 和田英作 塚本靖肖像 1901
- 4 ローラン スカッパの幽閉者の解放
- 5 鹿子木孟郎 裸女と野花
- 6 石井柏亭 冬の朝 1909
- 7 梅原龍三郎 伊豆大仁風景 1929
- 8 岸田劉生 霽れたる冬之日 1917
- 9 時田幸彦 ピサの斜塔 1977
- 10 松本秋美 aspettare 1983
- 11 王 軍 蘇州水郷 1992

浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派

- 1 浅井忠 藁屋根 1887頃
- 2 浅井忠 漁婦 1897
- 3 浅井忠 小丹波村 1893
- 4 浅井忠 フォンテンブローの夕景 1901

- 5 浅井忠 農婦 1902
- 6 フォンタネージ 十月、牧場の夕べ 1860
- 7 フォンタネージ 池と樹木 1870～72
- 8 コロー フォンテンブローの風景 1830～35頃
- 9 ミレー 垣根に沿って草を食む羊 1860頃
- 10 クールベ 嵐 1865頃
- 11 ラヴィエ モレステルの谷
- 12 ルソー バルビゾンの農場 1850～55頃
- 13 ドービニー オワーズ川のほとり 1865
- 14 ディアズ 森の中の農婦 1868
- 15 デュプレ 森のはずれ 1860年代

日本画・身近な風物を謳う 富取風堂展

新収蔵作品展

会期 (土) 日 平成 16 年 4 月 1 日 (木)
~ 5 月 30 日 (日)

会期 平成 16 年 4 月 1 日 (木)
~ 平成 16 年 5 月 9 日 (日)

会場 第 8 展示室

会場 第 3 展示室

開催日数 53 日

開催日数 35 日

展示点数 30 点

展示点数 34 点

日本画

- 1 富取風堂 游鯉 (其一) 1928
- 2 富取風堂 游鯉 (其二) 1928
- 3 富取風堂 朝光 1931
- 4 富取風堂 葛西風景 1937
- 5 富取風堂 漁村の初夏 1942
- 6 富取風堂 秋の草 1943
- 7 富取風堂 村莊晩春 1947
- 8 富取風堂 仔馬 1949
- 9 富取風堂 漁港の朝 1950
- 10 富取風堂 漁港の夕 1950
- 11 富取風堂 夕顔 1951
- 12 富取風堂 洋蘭 1952
- 13 富取風堂 花 1953
- 14 富取風堂 花籠 1954
- 15 富取風堂 残照 1954
- 16 富取風堂 初秋 1955
- 17 富取風堂 魚と果 1956
- 18 富取風堂 花 1957
- 19 富取風堂 蟹 1958
- 20 富取風堂 夕 1960
- 21 富取風堂 暮色 1962
- 22 富取風堂 雨の花 1963
- 23 富取風堂 河畔 1965
- 24 富取風堂 群魚 1967
- 25 富取風堂 麦秋 1971
- 26 富取風堂 初夏 1972
- 27 富取風堂 うすれ陽 1975
- 28 富取風堂 柿と軍鶏 1975
- 29 富取風堂 海老 1975
- 30 富取風堂 朝顔と蜻蛉 1975

日本画

- 1 田中路人 火の馬 1967
- 2 田中路人 群 1979
- 3 田中路人 時雨 1986

洋画

- 1 菅谷元三郎 裸婦 1928 頃
- 2 松村三冬 コルドバの中庭 1968
- 3 松村三冬 佳人 1971
- 4 松村三冬 北信濃早春 1973
- 5 松村三冬 ピランの夏 1988
- 6 山本不二夫 美しき佐原河港 1940

彫刻

- 1 平戸眞 脱 1982

工芸

- 1 猪俣伊治郎 イカルス 1979
- 2 猪俣伊治郎 風土記 1981
- 3 猪俣伊治郎 風土の形象 その六 1984
- 4 猪俣伊治郎 行き交うかたち 1986
- 5 猪俣伊治郎 風神 1991
- 6 猪俣伊治郎 聖家族 1995
- 7 猪俣伊治郎 転生—去来 1998
- 8 猪俣伊治郎 転生—野火 1999
- 9 猪俣伊治郎 オトタチバナ 2001
- 10 猪俣伊治郎 わだつみのひめみこ 2001
- 11 猪俣伊治郎 コノハナサクヤ 2002
- 12 戸島甲喜 母の曲 1965
- 13 戸島甲喜 輪 (りんご) 1969
- 14 戸島甲喜 カルマのイメージ 1972
- 15 戸島甲喜 群生の彼方に 1975
- 16 戸島甲喜 胎河観想 1994
- 17 中村董一 鋳銅花瓶 1935 頃
- 18 中村董一 鋳銅花瓶 1935 頃

書

1	海野濤山	韋荘詩	1999
2	小林湖東	壽無涯	
3	高木東扇	玉裳	1979
4	高木東扇	旅人	1981
5	高木東扇	元日の朝	1995
6	成瀬映山	帰居来辞	2003

現代版画の巨匠 浜口陽三展（前期）

会期	平成 16 年 5 月 15 日（土） ～ 6 月 13 日（日）
会場	第 3 展示室
開催日数	26 日
展示点数	34 点

版画

1	浜口陽三	レダ	1951
2	浜口陽三	うさぎ	1955
3	浜口陽三	ピーマンのある静物	1955
4	浜口陽三	したびらめ	1956
5	浜口陽三	パリの屋根	1956
6	浜口陽三	緑のぶどう	1958
7	浜口陽三	びんとくるみ	1959
8	浜口陽三	てんとう虫	1960
9	浜口陽三	ポプラ	1962
10	浜口陽三	トリコット	1965
11	浜口陽三	赤いパイプ	1971
12	浜口陽三	テーブル掛けとさくらんぼ	1971
13	浜口陽三	くるみ	1971
14	浜口陽三	26のさくらんぼ	1971
15	浜口陽三	版画集（ポルフォリオ）	1974
16	浜口陽三	さくらんぼと青い鉢	1976
17	浜口陽三	8つのくるみ	1977
18	浜口陽三	二匹の蝶	1977
19	浜口陽三	西瓜	1981
20	浜口陽三	赤い蝶	1981
21	浜口陽三	ピエーのさくらんぼ	1981
22	浜口陽三	ピエーのさくらんぼ（7枚組）	1981
23	浜口陽三	ピエーのさくらんぼ（15枚組）	1981
24	浜口陽三	てんとう虫	1984
25	浜口陽三	てんとう虫（7枚組）	1984
26	浜口陽三	てんとう虫（15枚組）	1984
27	浜口陽三	3匹の蝶	1985
28	浜口陽三	3匹の蝶（7枚組）	1985
29	浜口陽三	3匹の蝶（15枚組）	1985
30	浜口陽三	野	1985
31	浜口陽三	黄色い編み棒	1985-89
32	浜口陽三	緑のさくらんぼ	1981-89
33	浜口陽三	びんとレモンと赤い壁	1981-89
34	浜口陽三	青いくるみ	1982-89

現代版画の巨匠 浜口陽三展（後期）

会期 平成16年6月15日（火）
～7月11日（日）

会場 第3展示室

開催日数 24日

展示点数 32点

版画

1	浜口陽三	草花	1952
2	浜口陽三	顔	1954
3	浜口陽三	西瓜	1955
4	浜口陽三	ざくろ	1957
5	浜口陽三	ういきょう	1958
6	浜口陽三	魚とさくらんぼ	1958
7	浜口陽三	貝	1960
8	浜口陽三	白菜	1960
9	浜口陽三	赤い鉢と黒いさくらんぼ	1966
10	浜口陽三	びんとさくらんぼ	1971
11	浜口陽三	赤い鉢	1971
12	浜口陽三	ブラジルの太陽	1971
13	浜口陽三	てんとう虫	1971
14	浜口陽三	190と1匹	1975
15	浜口陽三	2匹のてんとう虫	1975
16	浜口陽三	1/4のレモン	1976
17	浜口陽三	貝	1977
18	浜口陽三	3つのポプラ	1980
19	浜口陽三	緑の毛糸	1981
20	浜口陽三	くるみ	1982
21	浜口陽三	青い蝶	1982
22	浜口陽三	青い蝶（7枚組）	1982
23	浜口陽三	青い蝶（15枚組）	1982
24	浜口陽三	びんとレモン	1983
25	浜口陽三	編み棒	1985
26	浜口陽三	22のさくらんぼ	1988
27	浜口陽三	マントリック・ミュージック I	1988
28	浜口陽三	22のさくらんぼ 15枚組	1988
29	浜口陽三	緑のポプラ	1985-89
30	浜口陽三	暗い背景のびんと黄色いレモン	1981-89
31	浜口陽三	琥珀色のくるみ	1982-89
32	浜口陽三	青紫色の蝶	1982-89

山の空気・海の香り

会期 平成16年6月5日（土）
～平成16年8月22日（日）

会場 第8展示室

開催日数 68日

展示点数 44点

入場者数 6,473人

日本画

1	酒井亜人	山	1951
2	杉原元人	海花	1975
3	鶴田熙	夕風	1978
4	時田直善	夕風	1954
5	若木山	山峡の春	1967

洋画

1	浅井忠	房州白浜	1887
2	浅井忠	房州白浜村	1887
3	浅井忠	房州乙浜村	1888
4	浅井忠	千石船	1902-07
5	浅井忠	房州白浜	1886
6	浅井真	雪の丘	1947
7	浅井真	錦繡の山	1945
8	浅井真	戸隠秋色	1971
9	浅井真	五月の海	1960
10	円城寺昇	岩	
11	大久保作次郎	山へ	1940
12	大久保作次郎	ヤッホー	1949
13	大久保作次郎	風	1955
14	金子周次	犬若浦釣手晩夏	
15	小堀進	高原	1951
16	小堀進	山	1965
17	小堀進	川原湯風景	1934
18	小堀進	風の日の海辺	1935
19	小堀進	太平洋の漁村	1941
20	小山周次	甲斐牧丘	1946
21	小山周次	銚子犬吠埼	1961
22	三田康	冬の犬吠岬	
23	ビゴー	二人の漁師	1892-97
24	白滝幾之助	海	1939
25	須田国太郎	風景（漁船）	
26	ワグマン	七里ヶ浜風景	
27	椿貞雄	岩	1936

- | | | | |
|----|------|-------------|---------|
| 28 | 椿貞雄 | 鋸山から見た房総半島 | 1948 |
| 29 | 椿貞雄 | 犬吠埼 | 1948 |
| 30 | 鶴田吾郎 | 朝日連峰 | 1951-54 |
| 31 | 鶴田吾郎 | お山の鈴音 | 1968 |
| 32 | 寺田政明 | 犬吠灯台の見える外川港 | 1985 |
| 33 | 富田通雄 | 外房鵜原 | 1964頃 |
| 34 | 中林 儼 | 山中湖附近 | |
| 35 | 鳩川誠一 | かもめ | 1942 |
| 36 | 原勝郎 | 山 | 1955 |
| 37 | 溝口七生 | 高原の樹々 | 1975 |
| 38 | 吉田博 | 雨後の穂高山 | 1927頃 |

版画

- | | | | |
|---|------|------|------|
| 1 | 川瀬巴水 | 房州太海 | 1925 |
|---|------|------|------|

こどものための展覧会「ZOO 夢 IN ART」

会期 (大) 平成 16 年 7 月 17 日 (土)
 (日) 11 月 7 日
 ~ 8 月 29 日 (日)

会場 第 3 展示室

開催日数 38 日

展示点数 30 点

日本画

- | | | | |
|---|------|------------|------|
| 1 | 岩崎巴人 | 闘う牛 | 1969 |
| 2 | 島田訥郎 | 群魚と波動 | 1975 |
| 3 | 杉原元人 | 寂巖 | 1987 |
| 4 | 立石春美 | 狗 | 1967 |
| 5 | 椿 貞雄 | かれい | 1950 |
| 6 | 時田直善 | 魚紋 | 1981 |
| 7 | 時田直善 | 憩い / 鵠その 6 | 1987 |
| 8 | 富取風堂 | 親子猿 | 1964 |

洋画

- | | | | |
|----|-------|-------------|---------|
| 1 | 蠶 嘔 | INSECTS | 1975 |
| 2 | 蠶 嘔 | BIRDS | 1975 |
| 3 | 浅井 忠 | あひる | 1902-07 |
| 4 | 麻生蓉子 | 出を待つ | 1978 |
| 5 | 伊藤順一 | 里 | 1992 |
| 6 | 大野隆徳 | 李朝の鉢と金魚 | 1934 |
| 7 | 須田国太郎 | デッサン (猫) | 1949 |
| 8 | 須田国太郎 | デッサン (ちゃぼ) | 1950 |
| 9 | 椿 貞雄 | 春夏秋冬図屏風 (春) | 1931 |
| 10 | 鶴田吾郎 | 蒙古の女 | 1937 |
| 11 | 鶴田吾郎 | 憶ひ出の広安門 | 1939 頃 |

工芸

- | | | | |
|---|------|-------|---------|
| 1 | 津田信夫 | 蛙 | 1934 |
| 2 | 津田信夫 | 胡孫遊目 | 1935 |
| 3 | 津田信夫 | 蜻蛉耳花生 | 1941-43 |
| 4 | 津田信夫 | 犬 | |
| 5 | 津田信夫 | 兎 | |
| 6 | 津田信夫 | 虎 | |
| 7 | 堀口光彦 | 安眠装置 | 1986 |

版画

- | | | | |
|---|------|----------------------|------|
| 1 | 生田宏司 | 二羽の子鳥 | 1997 |
| 2 | 生田宏司 | 猫と夜猫子 | 1998 |
| 3 | 生田宏司 | 花園 | 1999 |
| 4 | 池田良二 | Nodody Knows my mind | 1981 |

秋の彩り

会期 平成16年8月28日(土) ~ 10月11日(月)

会場 第8展示室

開催日数 39日

展示点数 28点

日本画

- | | | | |
|----|-------|----------|------|
| 1 | 大岩成徳 | 玉蜀黍 | 1980 |
| 2 | 加倉井和夫 | 穀機 | 1967 |
| 3 | 酒井亜人 | 晩秋 | 1952 |
| 4 | 島多訥郎 | 秋趣 | 1966 |
| 5 | 関主税 | 滝 | |
| 6 | 富取風堂 | 晩秋 | 1955 |
| 7 | 富取風堂 | きびと茄子 | |
| 8 | 東山魁夷 | 秋深 | 1975 |
| 9 | 牧野三生郎 | 比叡定光院 | 1968 |
| 10 | 若木山 | 三篇刈る信濃の女 | 1955 |

洋画

- | | | | |
|----|-------|------------|----------|
| 1 | 石井柏亭 | 裏磐梯の秋 | 1952 |
| 2 | 石橋武治 | 白鷺のいる風景 | 1953 |
| 3 | 板倉鼎 | 静物 | 1927 |
| 4 | 大崎善生 | 初秋水郷 | 1989 |
| 5 | 加藤源之助 | 秋の山(大和初瀬村) | 1908 |
| 6 | 河上左京 | 静物 | 大正末~昭和初期 |
| 7 | 国枝金三 | 大阪風景 | 1909 |
| 8 | 小山周次 | 林檎と柿 | 1961 |
| 9 | 榊原一広 | 収穫 | 1918 |
| 10 | 櫻田精一 | 秋霖の頃 | 1996 |
| 11 | 霜鳥之彦 | 秋果 | 1960 |
| 12 | 椿貞雄 | 秋果図 | 1951 |
| 13 | 都鳥英喜 | 八瀬の秋 | 1929 |
| 14 | 中山爾郎 | 秋装の群落 | 1988 |
| 15 | 長谷川良雄 | 晩秋 | 1909 |
| 16 | 柳敬助 | 静物 | 1921頃 |

工芸

- | | | | |
|---|------|----------|--|
| 1 | 上野斌郎 | 郊外秋景染色屏風 | |
|---|------|----------|--|

版画

- | | | | |
|---|------|-------|------|
| 1 | 川瀬巴水 | 市川の晩秋 | 1930 |
|---|------|-------|------|

工芸 - 技と美 -

会期 平成16年9月4日(土) ~ 10月11日(月)

会場 第3示室

開催日数 33日間

展示点数 28点

陶芸

- | | | | |
|---|-----------|-----------|------|
| 1 | 沼田一雅 | 鸚鵡 | |
| 2 | 清水六兵衛(5代) | 向付皿 | |
| 3 | 横山朝陽 | 牡丹紋搔落壺 | |
| 4 | 宮之原謙 | 象嵌十字星結晶花挿 | 1932 |
| 5 | 土肥刀泉 | 辰砂菊花花瓶 | |
| 6 | 加藤土師萌 | 酒瓶 | 1942 |
| 7 | 神谷紀雄 | 鉄絵銅彩椿紋壺 | 1986 |

染織

- | | | | |
|---|------|------------|------|
| 1 | 青木滋芳 | 洞門 | 1965 |
| 2 | 深沢範子 | シニョリーア回廊 | 1990 |
| 3 | 松原利男 | 長板中形 蛤と海草文 | 1997 |
| 4 | 松原利男 | 長板中形 鯉文 | 1998 |

漆芸

- | | | | |
|---|-------|----------|------|
| 1 | 増村益城 | 乾漆波文溜塗盛器 | 1965 |
| 2 | 三村比呂志 | 想曲 | 1971 |

金工

- | | | | |
|---|------|------------|---------|
| 1 | 香取秀真 | 鳩香炉 | 1949 |
| 2 | 津田信夫 | 雷吼一聲 | 1935 |
| 3 | 高村豊周 | 青銅花入 | |
| 4 | 鹿島一谷 | 布目象嵌 白鷺四態図 | 銀水注1996 |
| 5 | 関谷四郎 | 銅鉄壺 | 1974 |
| 6 | 宮田宏平 | 生命の透間風 | 1982 |
| 7 | 鈴木治平 | 湿原の詩 | 1985 |
| 8 | 小林正利 | 祈り(啓蟄) | 1975 |

ガラス

- | | | | |
|---|------|------|------|
| 1 | 各務鉦三 | 水指 | |
| 2 | 藤田喬平 | 飾筥朱雀 | 1978 |
| 3 | 石井康治 | 彩花文器 | 1995 |

木工

- | | | | |
|---|------|----------|------|
| 1 | 秋山逸生 | 蝶貝象嵌箱 | 1966 |
| 2 | 中台瑞真 | 桐菱形塗輪花盛器 | |
| 3 | 戸島甲喜 | 聖域の傳説 | 1976 |

革

- | | | | |
|---|-------|---------|------|
| 1 | 猪俣伊治郎 | 行き交うかたち | 1986 |
|---|-------|---------|------|

光へのまなざし

会期 (土) 平成 17 年 1 月 29 日 (土)
 (日) ~ 4 月 10 日 (日)

会場 第 3 展示室

開催日数 62 日

展示点数 22 点

日本画

- | | | | |
|---|------|--------|------|
| 1 | 大田歳 | 北海 | 1979 |
| 2 | 後藤純男 | 山門雨後 | 1974 |
| 3 | 斎藤惇 | 五台山大白塔 | 1986 |
| 4 | 酒井亜人 | 茶室 | 1953 |
| 5 | 杉原元人 | 更 | 1993 |
| 6 | 吉岡堅二 | 濤 | 1939 |

洋画

- | | | | |
|---|---------|-------------|-----------|
| 1 | 大久保作次郎 | 庭の木陰 | 1916 |
| 2 | 小堀進 | レマン湖畔 | 1962 |
| 3 | 小堀進 | 霞ヶ浦 | 1973 |
| 4 | 佐善明 | サンフランシスコ昼下り | 1987 |
| 5 | 星加達夫 | 影 | 1996 |
| 6 | フォンタネージ | 牛を追う農婦 | 1862 頃 |
| 7 | トロワイヨン | 河辺の道 | 1860-1865 |
| 8 | ジャック | 森の中 | 1871 |
| 9 | ドービニー | ヴァルモンドワの小川 | 1844 |

彫刻

- | | | | |
|---|-----|----------------|------|
| 1 | 原武典 | 水の中の太陽 (' 81) | 1981 |
| 2 | 原武典 | 水の中の太陽 (' 82) | 1982 |

版画

- | | | | |
|---|------|---------|------|
| 1 | 星襄一 | 星の森 (大) | 1971 |
| 2 | 星襄一 | 夜明け | 1975 |
| 3 | 星襄一 | 陽 (林) | 1978 |
| 4 | 利涉重雄 | 光の息 | 1991 |
| 5 | 利涉重雄 | 晨への旅 | 1998 |

書の美

会期 平成17年1月29日(土)
 ~3月27日(日)
 会場 第8展示室
 開催日数 50日
 展示点数 16点

書

- | | | |
|----------|------------------|------|
| 1 揚石舒雁 | 変奏二種 | 1998 |
| 2 浅見喜舟 | 崔子玉座右銘(録・楷・行・草書) | 1983 |
| 3 板倉花巻 | 神情詩 | 1949 |
| 4 今関脩竹 | ふるさと | 1981 |
| 5 江川碧潭 | 龍溪山 | |
| 6 大石隆子 | 待君 | 1975 |
| 7 小川瓦木 | 古代人からのメッセージ 8 | 1997 |
| 8 小暮青風 | 万葉集東歌(上野国の歌六首) | 1975 |
| 9 小安花邨 | バイロンの言葉 | 1966 |
| 10 鈴木方鶴 | 登樓萬里春 | 1981 |
| 11 高澤南総 | 春風秋月 | 1965 |
| 12 高宮金陵 | 山部赤人歌 | |
| 13 種谷扇舟 | 故郷之山河 | 1971 |
| 14 千代倉桜舟 | 玉沙の書 | 1987 |
| 15 中台邱園 | 盧綸詩 | 1986 |
| 16 中村象閣 | 平家物語の一節 | 1937 |

書道の美を堪能できる。また、書道の歴史や、書道の文化について、詳しく解説されている。また、書道の美を堪能できる。また、書道の歴史や、書道の文化について、詳しく解説されている。

書道の美を堪能できる。また、書道の歴史や、書道の文化について、詳しく解説されている。また、書道の美を堪能できる。また、書道の歴史や、書道の文化について、詳しく解説されている。

書道の美を堪能できる。また、書道の歴史や、書道の文化について、詳しく解説されている。また、書道の美を堪能できる。また、書道の歴史や、書道の文化について、詳しく解説されている。

書道の美を堪能できる。また、書道の歴史や、書道の文化について、詳しく解説されている。また、書道の美を堪能できる。また、書道の歴史や、書道の文化について、詳しく解説されている。

- 漁民を描く - 渡辺學の世界

渡辺學は、銚子に生まれ、郷土銚子の漁民や漁場を素材にした創作活動を続けた作家で、その画風は、60年以上にわたる創作活動の中で、様々な変遷を経ており、晩年に至ってもたゆまず進化し続けました。

この展覧会では、渡辺が東京美術学校に入学して以降の画風の変遷について年代を追って展示するとともに、作品の舞台となった銚子の風物や文化を紹介した。

また、サテライト展示として、平成17年1月18日(火)から24日(月)まで「渡辺學デッサン展」を(株)三越千葉店で、同店の協賛を得て実施しました(12点展示)。

会期	平成16年11月27日(土) ～平成17年1月23日(日)
会場	第8展示室
開催日数	42日
展示点数	62点
入場者数	7,092人

日本画

1	渡辺學	しゅろ	1936
2	渡辺學	暮れる日本橋	1938
3	渡辺學	婦人像	1938
4	渡辺學	闘鶏	1936-41
5	渡辺學	争奪	1946
6	渡辺學	黒潮	1952
7	渡辺學	魚と人	1956
8	渡辺學	加工場の男	1956
9	渡辺學	風化	1961
10	渡辺學	風化	1961
11	渡辺學	浜	1961
12	渡辺學	崖	1962
13	渡辺學	魚・人	1962
14	渡辺學	斗魚	1962
15	渡辺學	魚碑	1963
16	渡辺學	運ぶ	1966
17	渡辺學	池心洋々	1967
18	渡辺學	衡のある風景	1968
19	渡辺學	衡	1968
20	渡辺學	衡と魚	1968

21	渡辺學	外川の娘たち	1960年代
22	渡辺學	鶏盗	1972
23	渡辺學	海女	1972
24	渡辺學	投網持つ人	1974
25	渡辺學	船を焼く	1974
26	渡辺學	ぬぐ	1975
27	渡辺學	海苔とる浜(秋)	1975
28	渡辺學	川口	1976
29	渡辺學	夜明け	1976
30	渡辺學	遺された人(川口)	1977
31	渡辺學	衡のある部屋	1978
32	渡辺學	白い海	1979
33	渡辺學	白涛図	1970年代
34	渡辺學	屏風ヶ浦	1970年代
35	渡辺學	白濤図	1970年代
36	渡辺學	凍る空	1980
37	渡辺學	海人	1982
38	渡辺學	波と人	1985
39	渡辺學	遺された人々	1986
40	渡辺學	川口	1987
41	渡辺學	鯛たく浜	1987
42	渡辺學	魚族	1988
43	渡辺學	舟方	1988
44	渡辺學	網と人と	1990
45	渡辺學	黒の大地	1990
46	渡辺學	地炎	1990
47	渡辺學	夜明け	1991
48	渡辺學	廻り船の男	1992
49	渡辺學	九十九里.No.2	1992
50	渡辺學	真昼の浜	1992
51	渡辺學	遺された魚	1993
52	渡辺學	海苔とる浜	1993
53	渡辺學	汐と人と	1994
54	渡辺學	真昼	1995
55	渡辺學	加工場明ける	1995
56	渡辺學	海碑(川口)	1998
57	渡辺學	魚炎	1998
58	渡辺學	磯	1999
59	渡辺學	海碑(一の島)	1999
60	渡辺學	灘	1999
61	渡辺學	浜	1999
62	渡辺學	川口	2000

特別協力：銚子市・銚子市教育委員会

後援：NHK千葉放送局・(株)ベイエフエム

協賛：(株)三越千葉店

第28回千葉県移動美術館

佐原市中央公民館を会場として、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・版画の各分野にわたる千葉県立美術館の所蔵作品を紹介するとともに、第56回千葉県美術展覧会の受賞作品も併せて展示した。

会期 平成16年11月23日(火)
～12月5日(日)
会場 佐原市中央公民館
展示点数 36点
入場者数 1,834人

日本画

- | | | | |
|---|------|------|------|
| 1 | 島多訥郎 | 秋趣 | 1956 |
| 2 | 関主税 | 滝 | |
| 3 | 富取風堂 | 漁港の夕 | 1950 |

洋画

- | | | | |
|----|---------|-------------|---------|
| 1 | 浅井 忠 | 農婦 | 1902 |
| 2 | 石橋武治 | 水辺 | 1956 |
| 3 | 梅原龍三郎 | 皇居 | 1980 |
| 4 | 円城寺昇 | 岩 | |
| 4 | 大崎善生 | 初秋水郷 | 1989 |
| 5 | 岸田劉生 | 霽れたる冬之日 | 1917 |
| 6 | 久保木彦 | 鉄路の信号ボックス | 1978 |
| 7 | 小堀進 | ロンドンの朝 | 1964 |
| 8 | 柴田祐作 | 白い蔵 | 1988 |
| 9 | 前林章司 | 奥入瀬 | 1968 |
| 10 | 山本不二夫 | 美しき佐原河港 | 1940 |
| 11 | コロー | フォンテンブローの風景 | 1830～35 |
| 12 | フォンタネージ | 牛を追う農婦 | |

彫刻

- | | | | |
|---|-------|-----|------|
| 1 | 鈴木章 | 七面鳥 | 1932 |
| 2 | 高村光太郎 | 手 | 1918 |
| 3 | 長谷川昂 | 朝 | 1979 |

工芸

- | | | | |
|---|------|----------|------|
| 1 | 秋山逸生 | 菱華文象嵌長手箱 | 1946 |
| 2 | 香取秀真 | 烏銅鳳凰香炉 | 1911 |
| 3 | 小林正利 | 宴野 | 1996 |
| 4 | 津田信夫 | 北辺夜猫子 | 1941 |
| 5 | 藤田喬平 | 飾篭・しだれ櫻 | 1985 |

- | | | | |
|---|------|--------|------|
| 6 | 宮田宏平 | 生命の透間風 | 1982 |
| 7 | 山本正年 | 瑞光 | |

書

- | | | | |
|---|-------|---------|------|
| 1 | 鈴木方鶴 | 壺中日月長 | 1984 |
| 2 | 千代倉桜舟 | 星野立子の俳句 | 1980 |

版画

- | | | | |
|---|-------|-----------|------|
| 1 | 池田満寿夫 | 午後 | 1969 |
| 2 | 浜口陽三 | ピーマンのある静物 | 1960 |
| 3 | 深沢幸雄 | 憂愁市街(迷路) | 1985 |
| 4 | 星襄一 | 野の木(A) | 1978 |

第56回県展《県展賞》受賞作品

- | | | | |
|---|-------|--------|------|
| 1 | 井上美知子 | Shadow | 2004 |
| 2 | 四宮美紗子 | シンフォニー | 2004 |
| 3 | 射落通子 | テーベの午後 | 2004 |
| 4 | 杉本英華 | 白居易詩 | 2004 |

□ 普 及 事 業 □

■キッズ・サマーコンサート

企画展「こどものための展覧会 2004」の開催中に関連事業として、千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部と連携し、こどものためのコンサートを行った。

「絵画と音楽で旅するヨーロッパ」をテーマに、美術と音楽のコラボレーションによる楽しいコンサートを行い、好評を得た。

期日 7月25日(日)

14時～、15時～の2部制。

場所 第8展示室

参加者数 [1部] 292人 [2部] 181人



■ミュージアムコンサート

企画展「一漁民を描くー 渡辺學の世界」の開催中に、「海と自然に寄せて」と題してニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバーによるコンサートを行った。

「月の沙漠」や「浜辺の歌」などの海に関連する唱歌から、「美しき青きドナウ」など自然に関連する曲を演奏し、好評を得た。

期日 12月4日(土) 14時～

場所 講堂

参加者数 102人



■一日学芸員体験

平成14年度より施行されている新学習指導要領

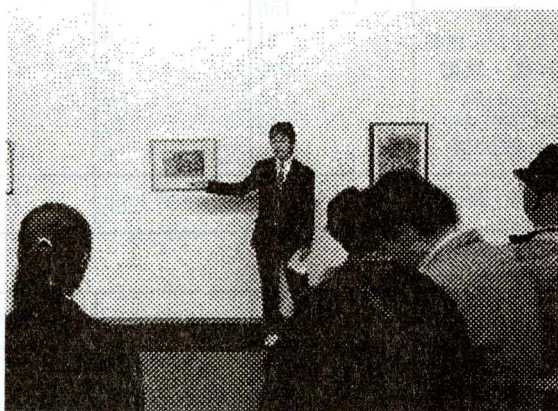
の趣旨に鑑み、本館と学校教育との連携を密にし、両者が一体となって児童及び生徒が、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるための事業として実施した。

内容は、午前は美術館の役割や学芸員の仕事を理解するためのガイダンス、バックヤードを含めた館内施設見学、そして実技Ⅰとして野外彫刻の点検及び鑑賞をし、それをまとめて発表会を行った。午後からは、実技Ⅱとして、美術工芸品の壺、掛け軸の取り扱いと保管の仕方を和室で行った。

参加学校数 中学校11校、高等学校5校

参加生徒数 99人

■美術館講座



平成15年度より、博学融合の理念に基づき、千葉県立八街高等学校の設置する総合学科の授業の充実に協力するため、美術館と高校が相互連携して「美術館講座」を開設した。4月から美術館の学芸職員7人が一年間をとおして、当該講座選択者14人の指導のため当該高校に出向いたり、生徒が美術館で実際の学芸員の仕事を体験したりした。

当講座の内容は、美術館の役割や使命、学芸員の仕事を学び、さらに理解を深めるために、実際に本館の収蔵作品の中から生徒個々が興味・関心のある作品を選定し、調査・研究を行い、情報の発信の仕方や美術工芸品の取り扱いを体験し、最後にその成果を発表する展覧会を開催するというものである。

1月14(金)～1月16日(日)に本館で当該高校生による展覧会「～高校生が見る時代～展」を開催し、来館者を前に受講生一人一人が、自分が選んだ作品についてギャラリートークを行った。

■情報資料室

開館日の13時～16時に開室し、県民の方々の美術情報資料（図書、雑誌、図録、新聞等）の利用に供した。また、各地の展覧会やイベントについて、資料室前のロビー等でポスター、チラシ、情報資料室等により、美術情報を提供した。

なお、16年度の収蔵図書については、205冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。

区 分	平成15年度まで	平成16年度	計
美術総記	1,892	4	1,896
絵画	1,675	43	1,718
彫刻	277	4	281
工芸	402	6	408
書	182	18	200
版画	156	3	159
デザイン・建築	91	0	91
写真・映像	200	1	201
その他	73	39	112
雑誌（合冊・復刻）	560	79	639
一般図書	555	8	563
合 計	6,063	205	6,268

区 分	平成15年度まで	平成16年度	計
購入図書	3,228	0	3,228
寄贈図書	2,835	205	3,040
合 計	6,063	205	6,268

■教師のためのアートガイダンス

美術館、学校との連携による体験学習講座を行い、新学習指導要領に示された学校の図工・美術・芸術教育等における美術館利用の促進及び学校教育推進に資するために実施した。

期日 8月11日（水）14時～
場所 研修室、和室、第二アトリエ
対象 小・中・高等学校の担当教員
参加者数 71人

■高校生のための美術館セミナー

県内高校生を対象にした体験学習を実施した。作品の解説・取扱いの二つの実習を行った。

解説では、館内で展示中の作品から一点選び、その感想を中心に作品解説を行った。

取扱いでは、壺や掛軸など日本の伝統的な美術品を実際に触って取扱いを体験した。

期日 8月20日（金）13時～
場所 展示室、研修室、和室

参加者数 14人

■実技講座

陶芸講座

期日 4/20（火）21（水）23（金）5/14（金）15（土）25（火）（6日間、講師指導日数は6日間）
講師 神谷紀雄氏（受講者数30人）
内容 焼成・絵付け・葉掛けなどの製作過程から、用具の取り扱いや陶芸の基本的な技術を学習した。

陶芸経験者講座

期日 5/27（木）28（金）29（土）6/1（火）17（木）24（木）（6日間、講師指導日数は6日間）
講師 神谷紀雄氏（受講者数20人）
内容 一人一作品を基本とし、基礎的な制作知識を修得している人が、より高度な技能を修得できるように実施した。

銅版画講座

期日 7/3日（土）、4（日）（2日間、講師指導日数は2日間）
講師 上田靖之氏（受講者数24人）
内容 土・日曜日の二日間で銅版画の制作や鑑賞を通し、銅版画の魅力を味わうとともに、凹版画の基礎的な技法を学習した。

金工講座

期日 9/9（木）10（金）11（土）14（火）15（水）16（木）18（土）22（水）23（木）24（金）（10日間、講師指導日数は7日間）
講師 小林正利氏（受講者数18人）
内容 銅板レリーフと彫金の制作を通して、各種工具の取り扱い方を学習するとともに、金工の基礎的な技法を学習した。

版画講座

期日 1/27（木）28（金）29（土）2/3（木）4（金）5（土）8（火）10（木）11（金）12（土）（10日間、講師指導日数は7日間）
講師 上田靖之氏（受講者数17人）
内容 木版画・銅版画の学習を通して、木版画や銅版画の持つ魅力を味わい、凸版画、凹版画の基礎的な技法や幅広い版画の表現方法を学習した。

篆刻講座

期日 2/24(木)25(金)26(土)3/1(火)2(水)3(木)
(6日間、講師指導日数は4日間)
講師 細谷恵志氏(受講者数18人)
内容 手軽にできる石材彫刻を通して篆刻の魅力を堪能し篆刻の基本的な技法を学習した。

■学校巡回展

県内公立小・中学校生徒を対象に、身近なところで優れた美術品を鑑賞できる機会を提供するため、「美術館がやってきた」をテーマに、名画の複製画を巡回展示した。(数字は見学者数)

鋸南町立鋸南中学校

期日 9月22日(水)～10月8日(金)
参加者数 257人

<ギャラリートーク>

期日 10月8日(金)
参加者数 80人

館山市立房南中学校

期日 10月13日(水)～10月29日(金)
参加者数 94人

館山市立北条小学校

期日 11月2日(火)～11月18日(木)
参加者数 742人

<ギャラリートーク>

期日 11月10日(水)
参加者数 237人

■ワークショップ

美術館でしか味わえないエキサイティングで躍動的な創作体験学習を通して、こども達に親しまれる美術館の促進を図るため、ワークショップを開催した。

●第1回ワークショップ

「300人でウォールペイント!ど・どうなるの?」
期日 5月22日(土)13:00～15:00
場所 美術館野外
参加者数 325人

●第2回ワークショップ

「お祭りワ〜ク!作らにゃそんそん」
期日 6月15日(火)11:00～15:00
場所 第7展示室前
参加者数 260人

●第3回ワークショップ

「おもしろオブジェ!ZOO夢 in Art 動物天国!」

PART①「バルーンZOO夢」

期日 8月7日(土)13:00～15:00
場所 第7展示室
参加者数 71人

PART②「スチロールカービングZOO夢」

期日 8月21日(土)13:00～15:00
場所 第4展示室
参加者数 24人

PART③「アニマルマンションZOO夢」

期日 8月28日(土)13:00～15:00
8月29日(日)13:00～15:00
場所 第4展示室
参加者数 47人(両日の合計)

●第4回ワークショップ

「ポップクーディネイトINモノレール千葉駅」

期日 10月9日(土)13:00～15:00
場所 千葉都市モノレール「千葉駅」構内
参加者数 91人

●第5回ワークショップ

「銚子伝統体験・銚子ちぢみ藍染体験!」

期日 11月27日(土)11:00～15:00
場所 第2アトリエ
参加者数 62人

■いいっぺ!銚子”まるごと体感”

「銚子はね太鼓のライブ」「マグロの解体ショー」「ぬれせん焼き体験」「銚子物産販売」「銚子郷土研究家によるギャラリートーク」「万祝式染め物 染色&祝旗下絵実演」「千葉県立銚子商業高等学校チャレンジショップCHOSHO」など、銚子をまるごと体感できるスペシャルイベントを開催した。

期日 12月12日(日)
場所 美術館野外芝生広場、展示室

■美術講演会

演題 -郷土銚子に生きた画家-
「渡辺學の人と芸術」
講師 窪島誠一郎氏(信濃デッサン館館主)
期日 12月18日(土)14:00～15:00
場所 講堂
参加者数 127人

■鑑賞教室むじゃキック3デイ

●第1回むじゃキック3デイ

「皮のながれのよ〜に？」

期日 平成16年4月18日(日)

13:00～15:00

場所 第7展示室

参加者数 40人

●第2回むじゃキック

「フロタージュ・小さい秋.. 見つけた」

期日 9月18日(土) 13:00～15:00

場所 第7展示室

参加者数 18人

●第3回むじゃキック

「書ッキングな書・どう？」

期日 平成17年2月19日(土)

13:00～15:00

場所 第7展示室

参加者数 32人

■美術めぐりの旅

県内外の各地に残された古今の優れた美術品等を訪ねることにより、美術への興味、関心を深め、美術館の活動の充実化及び利用促進を図ることを目的として開催した。

期日 9月25日(土)

場所 村内美術館、東京富士美術館、千葉県立美術館

参加者数 39人

■活動協力

□千葉県立美術館友の会

1. 目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で、教養を豊かにし、美術文化の向上を図り会員相互の親睦を深める。

2. 組織

- (1) 会員数 個人会員423人、賛助会員2人
- (2) 役員 会長1人、副会長3人、監事2人
理事若干名

3. 事業

- (1) 友の会だより「しおさい」の発行、年4回
各1,000部印刷し、会員に配布した。

- (2) 第29回葉美会展の開催

会期 平成16年9月7日(火)

～12日(日)

出品者 64人

展示点数 113点

- (3) 秋の美術鑑賞の旅

美術品や文化財を訪ねながら、親睦を深めるために実施した。

期日 10月28日(木)

場所 六義園、大谷美術館、篠原風鈴

参加者数 43人

- (4) 館事業への協力

ミュージアムグッズの販売・実技講座の開催のほか、講演会など県民アトリエ事業に積極的に参加した。

- (5) その他

テレホンカード・絵葉書・額縁・額絵・図書等の販売

4. 平成16年度 友の会実技講座

洋画入門講座(1)

期日 5/22(土) 23(日) 29(土) 30(日) 6/5(土) 6(日) (6日間)

講師 根岸茂行氏

受講者数 30人

洋画入門講座(2)

期日 6/10(木) 11(金) 17(木) 18(金) 24(木) 25(金) (6日間)

講師 羽生智樹氏

受講者数 35人

洋画入門講座(3)

期日 7/1(木) 3(土) 4(日) (3日間)

講師 根岸茂行氏

受講者数 19人

洋画入門講座(4)

期日 7/10(土) 11(日) 17(土) (3日間)

講師 根岸茂行氏

受講者数 22人

洋画入門講座 (5)
 期日 7/21 (水) 22 (木) 23 (金) 27 (火) 28 (水) 29 (木) (6日間)
 講師 御園正男氏
 受講者数 14人

洋画入門講座 (6)
 期日 8/3 (火) 5 (木) 6 (金) 17 (火) 19 (木) 21 (土) (6日間)
 講師 池田敏男氏
 受講者数 33人

洋画入門講座 (7)
 期日 8/25 (水) 26 (木) 27 (金) (3日間)
 講師 松澤茂雄氏
 受講者数 34人

洋画入門講座 (8)
 期日 《人物》11/13 (土) 14 (日) 16 (火) 18 (木)
 《風景》11/20 (土) 21 (日) (6日間)
 講師 根岸茂行氏
 受講者数 20人

洋画入門講座 (9)
 期日 11/24 (水) 25 (木) 26 (金) (3日間)
 講師 松澤茂雄氏
 受講者数 34人

洋画入門講座 (10)
 期日 12/1 (水) 2 (木) 3 (金) (3日間)
 講師 松澤茂雄氏
 受講者数 34人

洋画入門講座 (11)
 期日 2/20 (日) 26 (土) 27 (日) (3日間)
 講師 根岸茂行氏
 受講者数 32人

洋画入門講座 (12)
 期日 3/5 (土) 6 (日) 12 (土) (3日間)
 講師 根岸茂行氏
 受講者数 21人

日本画入門講座
 期日 9/8 (水) 9 (木) 10 (金) 15 (水) 16 (木)

17 (金) (6日間)
 講師 斎藤惇氏
 受講者数 25人

□博物館実習
 各大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を次のとおり受け入れた。
 平成16年8月5日 (木) ~ 8月10日 (火)
 跡見学園女子大学2人、お茶の水女子大学1人、東京工芸大学2人、実践女子大学1人、学習院大学1人、千葉大学2人、成蹊大学1人、武蔵野美術大学1人、城西国際大学1人 (9大学、12人)

■平成16年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会期・展示会場	申請者（貸出先）
浅井忠 浅井忠 浅井忠 長谷川良雄 長谷川良雄 長谷川良雄 牧野克次 間部時雄 間部時雄 間部時雄 加藤源之助	京都高等工芸学校の庭 婦人像 農家 京都高等工芸学校の庭 下鴨 晩秋 松林 田園風景 寒村 田中の牧場 秋の山（大和初瀬村）	間部時雄展	平成16年4月20日（火）～6月20日（日） 府中市美術館	府中市美術館
ドービニー ドービニー フォンタネージ	ヴァルモンドアの小川 オワーズ川のほとり 池と樹木	イメージの水位 ナルキッソスをめぐる変 容と反射	平成16年7月6日（火）～9月5日（日） 豊田市美術館	豊田市美術館
浅井忠	絵皿	2005年日本国際博覧会 開催記念展 「世紀の祭典 万国博覧 会の美術」	平成16年7月6日（火）～8月29日（日） 東京国立博物館 平成16年10月5日（火）～11月28日（日） 大阪市立美術館 平成17年1月5日（水）～3月6日（日） 名古屋市博物館	東京国立博物館 大阪市立美術館 名古屋市博物館 日本放送協会 日本経済新聞社
鶴田吾郎	初秋	風景と花の画家 －「曾宮一念展」	平成16年7月22日（木）～8月22日（日） 浜松市美術館	浜松市美術館
浅井忠 浅井忠 浅井忠 浅井忠 大川達一 菅谷元三郎 津田信夫 津田信夫 津田信夫	印鑑沼 東宮御所壁装草稿（1） はたらく婦人 老母像 聖観音 沼風景 弥勒菩薩 鴨 嘶馬	佐倉市市制施行 50周年記念事業 「佐倉の美術」	平成16年8月21日（土）～9月26日（日） 佐倉市立美術館	佐倉市立美術館
小倉惣次郎	伊藤博文像	〈彫刻〉と〈工芸〉 －近代日本の技と美	平成16年8月24日（月）～10月24日（日）	静岡県立美術館
浅井忠 浅井忠 浅井忠 浅井忠 大久保作次郎 大久保作次郎 大下藤次郎 河合新蔵 都島英喜 松岡寿	曳舟通り 蘆屋根 風景（1） 風景（2） 海水浴帰り 山へ 久々子湖 春の日 舟小屋 森と小川	葉山館開館一周年記念 近代日本絵画に見る 「自然と人生」	平成16年9月11日（土）～10月17日（日） 神奈川県立近代美術館 葉山	神奈川県立近代美術館
津田信夫 津田信夫 津田信夫 津田信夫 津田信夫 津田信夫 津田信夫 津田信夫 山室百世	水盤 鳳翔 薫炉 一點玲瓏 煙草入れ 海 鳥 部品 鋳銅草花置物	金風の変貌	平成16年9月11日（土）～10月10日（日） 高岡市美術館 平成16年11月20日（土）～12月24日（金） 佐倉市立美術館	高岡市美術館 佐倉市立美術館 美術館連絡協議会
吉岡堅二	溝	市制施行50周年記念 「牛島憲之と昭和前期の 絵画－抽象と具象のあい だ－」	平成16年10月9日（土）～11月28日（日） 府中市美術館	府中市美術館
浅井忠 石井林響	金州城外之図 木華開耶姫	日本絵画・20世紀の草々	平成16年10月28日（木） ～平成17年1月14日（日） 下関市立美術館	下関市立美術館
若木山 梅原龍三郎 石井雙石	三篇刈る信濃の女 竹窓読書図 一笑百印 一笑百印（印影）	県立美術館・博物館合同 企画事業 竹なが～いともだち	平成16年11月30日（火）～12月25日（土） 千葉県立関宿城博物館 平成17年1月8日（土）～2月6日（日） 千葉県立中央博物館 平成17年2月12日（土）～3月6日（日） 千葉県立房総のむら 平成17年3月12日（土）～5月8日（日） 千葉県立現代産業科学館	千葉県立関宿城博物館 千葉県立中央博物館 千葉県立房総のむら 千葉県立現代産業科学館
遠藤健郎 遠藤健郎 遠藤健郎 遠藤健郎 遠藤健郎	朝市 房総線ディーゼル・カーの乗客 たち 我は海の子 ケチャックの踊り（バリ） バリの森の女たち	遠藤健郎絵画展	平成17年1月29日（土）～2月27日（日） 千葉市美術館	千葉市美術館
松尾敏男	歷程	特別展「歩み－歌会始御 題によせて－」	平成17年3月30日（水）～5月8日（日） 式年遷宮記念神宮美術館	式年遷宮記念神宮美術館

■收藏資料数一覧 (平成17年3月31日現在)

種別	受入方法 購入	寄付	保管換	合計
日本画	128	167	25	320
洋画	352	496	42	890
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	217	10	376
書	110	141	14	265
版画	175	76	5	256
合計	997	1,146	107	2,250

研究資料	244	1,250	53	1,547
------	-----	-------	----	-------

■平成16年度収蔵資料一覧

番号	作家名	資料名	制作年	材質・技法	受入方法	x 寸法縦 (高) × 横
(幅) × 奥行 (cm)						
1	重田良一	山臥龍	1986	和紙・アクリル彩	寄附	65 × 162
2	重田良一	動物空間	1986	和紙・アクリル彩	寄附	161.5 × 54
3	重田良一	風とともに現れるとり	1986	和紙・アクリル彩	寄附	143 × 47
4	成瀬映山	帰去来辞		紙・墨	寄附	136.3 × 70 (2枚)
5	山口 達	機織り		紙・着彩	寄附	152 × 182.5
6	齋藤 惇	上華嚴寺詣	1998	紙・着彩	寄附	215 × 170
7	齋藤 惇	大漁の日	2002	紙・着彩	寄附	100 × 100
8	三宅策郎	両神山遠望	2000	キャンバス・油彩	寄附	81 × 100.2
9	行木正義	パリのエンド抽象画	1955	キャンバス・油彩	寄附	65 × 100.3
10	行木正義	青の中の棒の遊び	1958	キャンバス・油彩	寄附	38.2 × 45.7
11	行木正義	点の詩	1965	紙・水彩	寄附	54.3 × 21.8
12	行木正義	Paris	1984	キャンバス・油彩	寄附	45.7 × 53.2
13	行木正義	フランスオンフルール風景	1988	キャンバス・油彩	寄附	60.3 × 72.7
14	行木正義	Lに斜線	1993	キャンバス・油彩	寄附	53.2 × 45.7
15	松室重剛	秋の山		紙・水彩	寄附	16 × 26.5
16	松室重剛	富士		紙・水彩	寄附	12.8 × 17.8
17	松室重剛	山		紙・水彩	寄附	7.9 × 17
18	松室重剛	妙義山		紙・鉛筆	寄附	19.2 × 25.1
19	松室重剛	溪谷		紙・鉛筆	寄附	18.8 × 14.2
20	松室重剛	富士遠望		紙・色鉛筆	寄附	22.8 × 28.9
21	針生鎮郎	王と妃 (あやとり)	1988	キャンバス・油彩	寄附	73 × 91
22	針生鎮郎	あかい	1983	キャンバス・油彩	寄附	60.5 × 50
23	針生鎮郎	たちんぼ	1983	キャンバス・油彩	寄附	72.5 × 116.5
24	針生鎮郎	トリ	1969	キャンバス・油彩	寄附	162 × 130.5
25	針生鎮郎	いちご畑・ボス	1965	キャンバス・油彩	寄附	162 × 162
26	針生鎮郎	王と妃・面Ⅲ	1988	キャンバス・油彩	寄附	194.5 × 162
27	針生鎮郎	家族	1963頃	キャンバス・油彩	寄附	160 × 130.5
28	木村賢太郎	作品 77	1963	石	寄附	63 × 31.5 × 31.5
29	木村賢太郎	待っている時	1965	石	寄附	69 × 36 × 36
30	木村賢太郎	街角 8	1982	石	寄附	60.5 × 19.5 × 19.5
31	木村賢太郎	海の上で夢を見た	1984	石	寄附	28.5 × 59 × 28.5
32	木村賢太郎	トルソー	1990	石	寄附	63.5 × 35 × 35
33	木村賢太郎	化粧する女 2	1991	石	寄附	76.5 × 42.5 × 42.5
34	木村賢太郎	立っている形 6	1991	石	寄附	77 × 48.5 × 48.5
35	木村賢太郎	街角 13	1992	石	寄附	63.5 × 33 × 33
36	木村賢太郎	お餅	1993	石	寄附	20 × 20.5 × 20.5
37	木村賢太郎	街角 14	1994	石	寄附	30 × 21.5 × 21.5
38	木村賢太郎	波 1	1995	石	寄附	31.5 × 22 × 22
39	木村賢太郎	波 2	1995	石	寄附	15 × 30 × 15
40	木村賢太郎	波 3	1995	石	寄附	29.5 × 15.5 × 15.5
41	木村賢太郎	四つの姿 1	1995	石	寄附	37 × 26 × 26

42	木村賢太郎	波 4	1996	石	寄附	50 × 29 × 29
43	木村賢太郎	四つの姿 3	1996	石	寄附	37 × 26 × 26
44	木村賢太郎	四つの姿 4	1996	石	寄附	38 × 25 × 25
45	木村賢太郎	四つの姿 5	1998	石	寄附	160 × 91.5 × 21.5
46	木村賢太郎	四つの姿 6	2000	石	寄附	124 × 74.5 × 74.5
47	木村賢太郎	生成 2	2001	石	寄附	94 × 56 × 56
48	木村賢太郎	生成 3	2002	石	寄附	94 × 47.5 × 47.5
49	木村賢太郎	友達	2004	石	寄附	88 × 66.5 × 66.5
50	平戸 眞	脱	1982	石膏	寄附	176 × 44 × 52
51	六崎敏光	つどい	1996	ブロンズ	寄附	50 × 46 × 29
52	上野斌郎	楽園染色壁掛		染色	寄附	212.5 × 151.7
53	藤田喬平	彩環	1993	ガラス	寄附	55 × 52 × 12
54	藤田喬平	容	1987	ガラス	寄附	75 × 径 40
55	藤田喬平	平和	2001	ガラス	寄附	85 × 径 44
56	藤田喬平	炎の舞	2002	ガラス	寄附	80 × 53 × 50
57	藤田喬平	秋宝	2003	ガラス	寄附	39 × 径 56.5
58	藤田喬平	飾筥・湖上の花	1980 頃	ガラス	寄附	15.5 × 径 16
59	藤田喬平	飾筥・琳派	1985 頃	ガラス	寄附	75 × 径 45
60	藤田喬平	飾筥・日輪	1993 頃	ガラス	寄附	17.5 × 30 × 23.5
61	藤田喬平	飾筥・紅白梅	1995 頃	ガラス	寄附	22 × 21 × 22
62	藤田喬平	飾筥・源氏物語	1995	ガラス	寄附	15 × 20 × 20
63	藤田喬平	飾筥・室町	1996 頃	ガラス	寄附	17 × 22.5 × 22.5
64	藤田喬平	飾筥・瑞光	1998	ガラス	寄附	21 × 23.5 × 21
65	藤田喬平	飾筥・五色の舞	1998	ガラス	寄附	13.5 × 23.5 × 21
66	藤田喬平	飾筥・醍醐	2001	ガラス	寄附	18 × 29.5 × 26
67	藤田喬平	ヴェニス賛歌	1983	ガラス	寄附	49 × 径 28
68	藤田喬平	ヴェニスの灯	1984	ガラス	寄附	64 × 径 22
69	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1990	ガラス	寄附	27 × 26 × 25
70	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1995	ガラス	寄附	28.5 × 径 20
71	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1996	ガラス	寄附	35 × 20 × 11
72	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1996	ガラス	寄附	36 × 径 20.5
73	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2002	ガラス	寄附	38 × 径 27
74	藤田喬平	ヴェニス花鉢	2003	ガラス	寄附	24 × 径 46
75	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2003	ガラス	寄附	45 × 径 16
76	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2003	ガラス	寄附	45 × 径 16
77	藤田喬平	平水指	2002	ガラス	寄附	13 × 径 32
78	藤田喬平	水指	2003	ガラス	寄附	17 × 23.5 × 19.5
79	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1982	ガラス	寄附	43.5 × 25 × 23.5
80	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1986	ガラス	寄附	34 × 径 29
81	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1986	ガラス	寄附	32 × 径 28
82	藤田喬平	春の小川	1955	ガラス	寄附	25 × 24 × 10
83	藤田喬平	花瓶「三彩」	1962	ガラス	寄附	21 × 径 22
84	藤田喬平	三彩花瓶	1963	ガラス	寄附	23 × 径 21
85	藤田喬平	流動三彩	1965	ガラス	寄附	21 × 22 × 17
86	藤田喬平	緑の花	1967	ガラス	寄附	17.5 × 21 × 21

87	藤田喬平	流動「牡丹」	1967	ガラス	寄附	26 × 28 × 28
88	藤田喬平	岳	1968	ガラス	寄附	18 × 40 × 4
89	藤田喬平	華	1969	ガラス	寄附	40 × 18 × 4
90	藤田喬平	光輝	1970	ガラス	寄附	24 × 径 17
91	藤田喬平	三彩	1980	ガラス	寄附	23 × 径 20.5
92	藤田喬平	三彩花盛鉢	1983	ガラス	寄附	23 × 18 × 18
93	藤田喬平	三彩鉢	1984	ガラス	寄附	15 × 33 × 30.5
94	宇津木紅来	流鶯	1987	紙・墨	寄附	188 × 185
83	藤田喬平	花瓶「三彩」	1962	ガラス	寄附	21 × 径 22
84	藤田喬平	三彩花瓶	1963	ガラス	寄附	23 × 径 21
85	藤田喬平	流動三彩	1965	ガラス	寄附	21 × 22 × 17
86	藤田喬平	緑の花	1967	ガラス	寄附	17.5 × 21 × 21
87	藤田喬平	流動「牡丹」	1967	ガラス	寄附	26 × 28 × 28
88	藤田喬平	岳	1968	ガラス	寄附	18 × 40 × 4
89	藤田喬平	華	1969	ガラス	寄附	40 × 18 × 4
90	藤田喬平	光輝	1970	ガラス	寄附	24 × 径 17
91	藤田喬平	三彩	1980	ガラス	寄附	23 × 径 20.5
92	藤田喬平	三彩花盛鉢	1983	ガラス	寄附	23 × 18 × 18
93	藤田喬平	三彩鉢	1984	ガラス	寄附	15 × 33 × 30.5
94	宇津木紅来	流鶯	1987	紙・墨	寄附	188 × 185

□管理運営□

□運営方針□

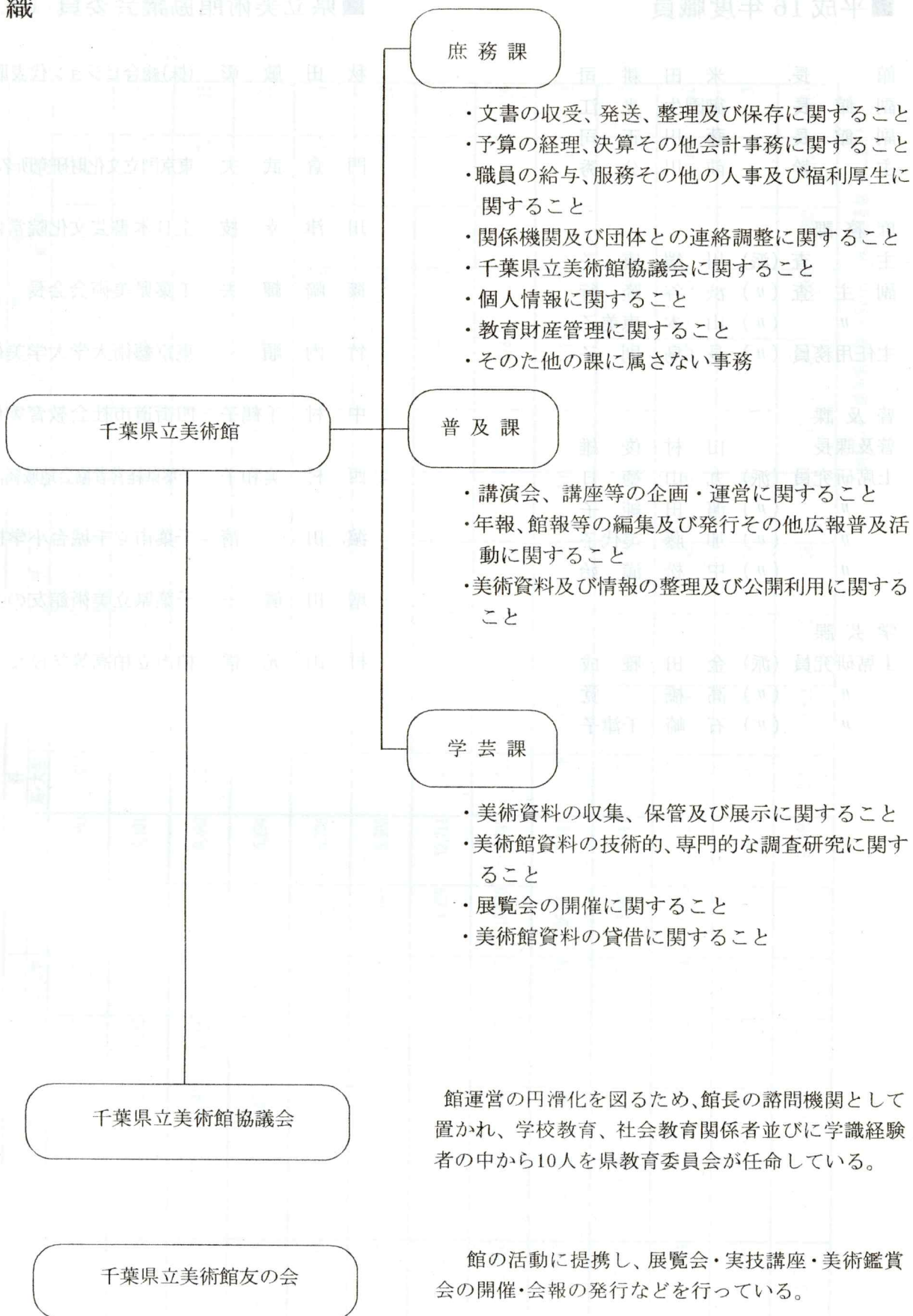
県民のための美術館として、明るい親しまれる美術館。

学校教育・社会教育との関連から、教育普及活動を重視し、楽しく学べる美術館。

県民と美術家との交流の場とし、相互の理解と向上を図る美術館。

房総の地にかかわりのある美術家の作品と関係資料の収集・研究を目指す美術館。

美の広場として、広く美術資料・情報等を収集し、“みる・かたる・つくる”活動を総合的に展開する美術館。



■平成16年度職員

館長 米田耕司
副館長 御園生光江
副館長 藤川正司
主幹 前川公秀

庶務課

主査(派) 川端康子
副主査(〃) 渋谷隆行
〃(〃) 山本恵美子
主任用務員(〃) 長島則子

普及課

普及課長 田村俊雄
上席研究員(派) 丸山徳日
〃(〃) 濱田純子
〃(〃) 加藤美代子
〃(〃) 中松満始

学芸課

上席研究員(派) 金田雅成
〃(〃) 高橋 覚
〃(〃) 石崎千津子

■県立美術館協議会委員 (五十音順)

秋田敏彰 (株)総合ビジョン代表取締役社長

門倉武夫 東京国立文化財研究所名誉研究員

川津幸枝 全日本書芸文化院常任理事

篠崎輝夫 千葉県美術会会長

竹内順一 東京藝術大学大学美術館長

中村千鶴子 四街道市社会教育委員

西村美和子 千葉県経営者協会地域経済委員会委員

濱田 清 千葉市立千城台小学校長

増田眞一 千葉県立美術館友の会事務局長

村山元信 柏市立柏高等学校長

■ 利用状況

平成 16 年度入館者数一覧表

	開館 日数	入場者 計	個					人					団					団体数
			有		無			有		無			有		無			
			計	計	一般	高・大生	小・中生	計	計	一般	高・大生	小・中生	計	計	一般	高・大生	小・中生	
4月	26	8,530	8,408	1,258	1,205	53	7,150	5,969	635	546	122	37	37	85	64	21	4	
5月	27	11,396	10,980	1,442	1,382	60	9,538	8,101	461	976	416	162	60	102	137	24	12	
6月	26	13,217	12,597	1,191	1,166	25	11,406	9,482	270	1,654	620	254	201	53	215	72	15	
7月	27	8,099	7,777	1,477	1,412	65	6,300	5,194	145	961	322	157	157		112	53	10	
8月	26	10,889	10,726	1,769	1,662	107	8,957	5,776	155	3,026	163	2	2		114	47	4	
9月	26	8,776	8,395	1,297	1,239	58	7,098	5,903	207	988	381	80	80		196	105	12	
10月	22	15,263	14,826	597	581	16	14,229	12,714	831	684	437			437	178	79	8	
11月	24	10,962	10,644	594	587	7	10,050	8,793	531	726	318			318	236	82	10	
12月	22	27,559	27,349	1,202	1,168	34	26,147	17,343	76	8,728	240	53	53		73	114	8	
1月	23	7,975	7,820	1,880	1,808	72	5,940	5,544	71	325	155	24	24		131		5	
2月	24	8,744	8,087	1,414	1,340	74	6,673	4,728	198	1,747	657	49	49		143	465	12	
3月	27	6,176	6,095	1,457	1,404	53	4,638	3,919	166	553	81	50	50		31		3	
計	300	137,616	133,704	15,578	14,954	624	118,126	93,466	3,746	20,914	3,912	868	713	155	1,630	283	103	

開館以来 総開館日数 8,913日 総入館者数 5,132,508人

■展示室利用団体

	展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
1	第19回千葉県日本水彩展	4/6～11	洋画	206
2	第74回郷陽会展	4/13～18	洋画	221
3	第18回コクリコ会展	4/13～18	ガラス絵	103
4	第18回千葉水彩展	4/20～25	洋画	71
5	第31回千葉新協展	4/20～25	洋画	156
6	第30回猊展	4/20～25	日本画・洋画・彫刻・工芸・写真	51
7	MUSABI展	4/27～5/9	洋画	62
8	第18回カラーダスト展	4/27～5/9	洋画	56
9	第30回歩会彫刻展	4/27～5/9	彫刻	49
10	第28回墨の県展	5/11～16	水墨画・洋画・その他	431
11	第44回千葉アマチュア美術会展	5/18～23	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・その他	1,832
12	千葉多摩美会展	5/25～30	日本画・洋画・デザイン・彫刻・工芸・書・その他	100
13	第35回表美展	5/25～30	表装・額装・屏風	100
14	第31回千虹会日本画展	5/25～6/6	日本画	40
15	第49回二科会千葉支部展	6/1～6	洋画	745
16	第51回千葉県書道協会展	6/8～13	書	506
17	第26回新槐樹社千葉県支部展	6/15～20	洋画・彫刻・工芸	56
18	第27回千葉一陽展	6/15～20	洋画	131
19	第19回日本画四季展	6/15～27	日本画	52
20	千葉幼児美術展	6/15～20	絵画・その他	985
21	第48回千葉県小中学校書写展覧会	6/22～27	書	903
22	第32回水彩連盟千葉支部展	6/29～7/4	洋画	63
23	〈明日を拓く〉教育美術展	6/29～7/4	絵画・その他	444
24	精鋭展	6/29～7/4	洋画	85
25	第49回千葉二紀会展	7/6～11	洋画	103
26	第15回千葉県木彫会展	7/6～7/11	彫刻	57
27	第36回千葉市水墨画同好会連合会展	7/13～25	水墨画	461
28	第33回写真千葉県展	7/27～8/8	写真	296
29	第109回習美会初夏大作展	7/27～8/1	日本画・洋画水・墨画	238
30	日本春秋千葉書院展	7/27～8/1	書	223
31	第37回漱雲会全国書道展	7/27～8/1	書	361
32	第14回太平洋美術会千葉支部展	8/3～8	洋画・彫刻・工芸	174
33	おもしろ半島「ちば」観光写真展	8/3～8	写真	42
34	第34回いてふ会彫刻展	8/10～22	彫刻	44
35	第21回「美しい郷土」絵画コンクール優秀作品展	8/17～22	絵画	684
36	第33回千葉硯心会書展	8/17～22	書	44
37	第一美術協会千葉県支部展	8/24～29	洋画・工芸	138
38	なの花書道愛好会展	8/24～29	書	131
39	第44回白扇書道会展	8/31～9/5	書	2,599
40	第42回新世紀千葉支部展	9/7～12	洋画	77
41	第37回千葉県高校芸術祭「合同写真展」	9/7～12	写真	502
42	葉美会展	9/7～12	日本画・洋画・その他	112

43	第51回千葉県勤労者美術展	9/14～20	洋画・書・写真	218
44	第27回千葉県写真展	9/14～26	写真	207
45	第54回デザイン展 CHIBA'04	9/22～26	デザイン	248
46	第34回新構造千葉県支部展	9/22～26	洋画・写真	104
47	第26回等迦会千葉県支部展	9/28～10/3	洋画	63
48	第21回中央美術協会千葉支部展	9/28～10/3	日本画・洋画	141
49	第24回二科会写真部千葉支部展	9/28～10/3	写真	90
50	第15回千葉県教育芸術祭	10/5～10/11	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	991
51	千葉国際東方芸術展	10/5～11	水墨画	163
52	第56回千葉県美術展覧会	10/16～11/7	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	2,905
53	千葉県高校芸術祭「美術工芸・書道作品展」	11/9～21	洋画・工芸・書	2,819
54	第36回ファンシー洋画展	11/23～28	洋画	60
55	第31回文化書道千葉県連合会公募展覧会	11/23～28	書	358
56	第36回千葉現展	11/23～28	洋画	67
57	第49回こども県展	11/30～12/12	洋画	9,187
58	亜細亜太平洋水墨画公募展	12/14～19	水墨画	350
59	第32回富士百景写真展	1/5～10	写真	101
60	第40回登龍社書初展	1/5～10	書	313
61	第22回千葉県医師会美術展	1/18～23	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	102
62	群鴫書人展	1/25～30	書	58
63	第20回書星選抜展	1/25～30	書	221
64	第57回千葉県小中高校書き初め展覧会	2/1～6	書	415
65	第16回日本童謡の書展	2/1～6	書	1,854
66	日本和紙ちぎり絵協会千葉県支部展	2/1～6	その他	93
67	子ども造形展	2/8～13	絵画・彫刻・デザイン・立体・その他	1,800
68	千葉県立幕張総合高等学校書道展	2/8～13	書	115
69	千葉大学教育学部美術科・図工科卒業制作展	2/15～20	洋画・彫刻・デザイン・工芸・その他	20
70	千葉大学教育学部第38回学生書道展	2/15～20	書	220
71	千葉日報書道展	2/22～27	書	463
72	第34回千葉県大学美術連盟展	3/1～6	日本画・洋画・工芸・書・写真	80
73	第28回唱和会書展	3/1～6	書	170
74	ダネラ展	3/1～6	工芸	47
75	第10回翔洋展	3/8～13	洋画	52
76	第8回平成美術会展	3/8～13	洋画	200
77	和洋女子大学卒業展	3/8～13	書	45
78	第30回千葉県民写真展	3/15～21	写真	579
79	第52回書星教育部展	3/23～27	書	1,240

■ 施 設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

外壁の打込みタイル—先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、珧器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通し、2,400mm程度まで積み上げ単管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通し、横方向に単管を480ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に単管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m～2.0m/hの速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランプを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロが滲み込んでゆき、目地からの滲透水を防ぎ満足する状態に仕上がった。

屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用了。

空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館

として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟はCAV(定風量型)+VAV(可変風量型)方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV方式は、こういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つVAV方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

照明計画

展示壁面は、自然光源と人口光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の溝型ガラスと内部の紫外線吸収のアクリル拡散板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は8時から15時の間で10%の時間が80,000lx以上、30%の時間が50,000lx以上、50%の時間が25,000lx(平均)以上、90%の時間が5,000lx以上という測定値があり、また水平面照度にしても50,000lx(薄暗)から5,000lx(曇天)の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン(これは、計算値により鉛直面照度60,000lx以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した)にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による通過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル(通過率53.6%)と黒地のジョーゼット(通過率35%)の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第1、2展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高

200lxに押えてある。

固定ケースは基準照度を180lxに設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

〈設計及び工事監理者〉

大高建築設計事務所

〈施工者〉

建築：(株) 竹中工務店

設備：空調＝東洋熱工業 (株)

衛生＝第一管工事 (株)

電気＝関東電気工事 (株)

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

〈都市計画地域指定〉

用途地域：準工業地域

〈規模・面積〉

敷地面積 33,057.87 m²

建築面積 8,777.94 m²

延床面積 10,663.57 m²

展示棟 6,343.02 m²

管理棟 2,818.89 m²

県民アトリエ棟 1,501.66 m²

駐車台数 97 台

〈工期及び建設経費〉

(1) 第1期工事 (展示棟) 5,194.59 m²
(建築面積5,102.35 m²)

○工期 昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費 775,967 千円

本体工事 425,230 千円

電気設備工事 79,663 千円

空調設備工事 166,493 千円

給排水衛生設備工事 28,995 千円

外溝工事 67,705 千円

ガス工事 7,881 千円

(2) 第2期工事 (管理棟) 2,274.60 m²
(建築面積1,089.50 m²)

○工期 昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費 453,800 千円

本体工事 307,500 千円

電気設備工事 30,000 千円

空調設備工事 79,000 千円

給排水衛生設備工事 19,514 千円

外溝工事 17,786 千円

(3) 第3期工事 (県民アトリエ) 1,501.66 m²
(建築面積1,449.34 m²)

○工期 昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費 370,000 千円

本体工事 265,300 千円

電気設備工事 35,000 千円

空調設備工事 56,200 千円

給排水衛生設備工事 13,500 千円

○工期 昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費 8,000 千円

外構工事 8,000 千円

(4) 第4期工事 (第8展示室1,148.43 m²
収蔵庫544.29 m²) 1,692.72 m²
(建築面積1,136.75 m²)

○工期 昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費 747,500 千円

本体工事 476,000 千円

電気設備工事 81,000 千円

空調設備工事 171,000 千円

給排水衛生設備工事 19,500 千円

総工事費 2,355,267 千円

工期別面積一覧

区分	地階	1階	2階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底：GL－5.00m

高さ：GL＋15.20m

【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋根：鉄骨造

主鋼材：SS41及び高張力鋼

コンクリートの種類

A種・普通コンクリート (基礎・地中梁・1階スラブ)

$F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$

B種・軽量コンクリート (梁・スラブ用・地

上部)

$$F_c = 300\text{kg}/\text{cm}^2$$

C種・軽量コンクリート(地上部躯体でAB以外の梁・壁など) $F_c = 240\text{kg}/\text{cm}^2$

〈設備〉

【電気設備】

受電方式：交流3相3線式6,000V 50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟=CAV(定風量型)+VAV(可変風量型)方式

管理棟=VAV方式

保管庫=露点再熱制御方式

県民アトリエ棟=各室ハンドリング方式

熱源：空気熱源スクルー熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給水：ポンプ圧送方式、引込み管径75mm

排水：汚水・雑排水合流方式系統(管径300)
雨水系統(管径300)別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式：自然排煙、機械排煙(第1、2、7展示室)

消火方式：屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備(ハロゲン1301)

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力 100kVA

火災報知設備：P型1級自動火災報知設備

【その他の設備】

防犯設備：ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

規模：容量3,000kg

$$\text{カゴ内法} = 3,000\text{mm} \times 3,000\text{mm} \times 3,000\text{mm}$$

$$\text{速度 } 30\text{m}/\text{min}$$

展示棟

玄関ホール	102.40 m ²
クローク	91.80 m ²
倉庫A	2.70 m ²
倉庫B	2.70 m ²
第1展示室	437.76 m ²
第2展示室	400.32 m ²
第3展示室	469.08 m ²
第4展示室	403.20 m ²
第5展示室	824.19 m ²
第6展示室	330.58 m ²
第7展示室	566.56 m ²
第8展示室	864.61 m ²
食堂	119.52 m ²
厨房	36.00 m ²
従業員控室	17.28 m ²
食堂ホール	49.20 m ²
ミュージアムショップ	12.00 m ²
ロビー	335.52 m ²
第1休憩室	23.04 m ²
第2休憩室	23.04 m ²
第3休憩室	23.04 m ²
便所A	30.24 m ²
便所B	23.76 m ²
身障者用便所	7.92 m ²
コントロール室	20.16 m ²
フィルター室	28.92 m ²
工作室	31.00 m ²
発電気室	25.00 m ²
電気室	123.20 m ²
ポンプ室	76.80 m ²
機械室	305.20 m ²
機械室(新)	283.82 m ²
高架水槽室	11.46 m ²
E.V機械室	27.28 m ²
E.V廻り	54.56 m ²
ダクトスペース	35.68 m ²
廊下等	123.48 m ²

計 ① 6,343.02 m²

管理棟	
(1階)	
第2会議室	22.62 m ²
更衣室	14.38 m ²
医務室	21.18 m ²
書庫	22.02 m ²
警備員室	43.59 m ²
第1会議室	20.15 m ²
倉庫	7.19 m ²
湯沸室	5.19 m ²
便所	24.54 m ²
宿直室	34.20 m ²
物置	9.92 m ²
用務員室	31.83 m ²
審査室・資料	
準備室・荷解室	520.68 m ²
消毒室	31.79 m ²
資料倉庫	124.25 m ²
荷解梱包室	52.67 m ²
荷扱人室	21.94 m ²
機械室	51.74 m ²
廊下等	123.97 m ²

小計 1,183.85 m²
(2階)

館長室	33.27 m ²
副館長室	23.42 m ²
第1応接室	14.67 m ²
第2応接室	14.55 m ²
庶務課室	112.34 m ²
会議室	43.84 m ²
学芸課・普及課室	195.32 m ²
学芸相談室	23.91 m ²
研究工作室	216.49 m ²
写真スタジオ	54.30 m ²
器材室	6.74 m ²
暗室	12.19 m ²
第1収蔵室	184.40 m ²
第2収蔵室	42.81 m ²
第3・4収蔵室	544.29 m ²
E・V前室	16.39 m ²
便所	21.50 m ²
湯沸室A	3.24 m ²
〃 B	6.87 m ²
廊下等	60.94 m ²
ダクト・スその他	3.56 m ²
小計	1,635.04 m ²

計 ② 2,818.89 m²

県民アトリエ棟

1F機械室	25.92 m ²
講堂倉庫	8.64 m ²
講堂	259.24 m ²
コントロール室	30.33 m ²
ホール側便所	29.97 m ²
情報資料室	172.77 m ²
情報資料室倉庫	4.70 m ²
事務室	22.76 m ²
研修室	74.70 m ²
研修室倉庫	4.23 m ²
第1アトリエ	155.70 m ²
第2アトリエ	184.31 m ²
第3アトリエ	95.47 m ²
アトリエ側便所	20.77 m ²
荷解室	25.65 m ²
窯場	27.17 m ²
窯場倉庫	6.66 m ²
ホールその他	352.67 m ²

計 ③ 1,501.66 m²

合計 10,663.57 m²
(①+②+③)

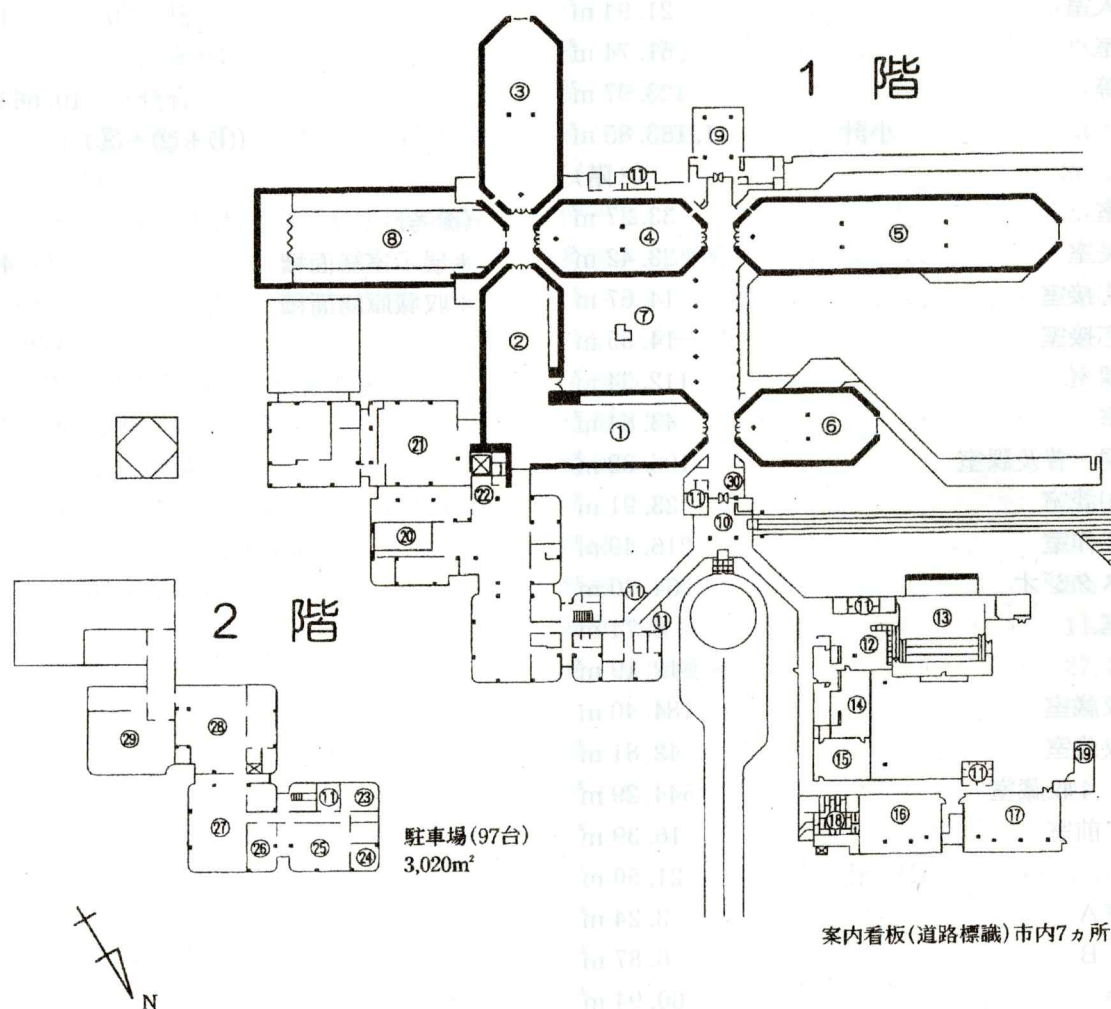
〈参考〉

*展示室総面積	4,296.30 m ²
*収蔵庫総面積	771.50 m ²

内容

- ①～⑧ 展示室
- ⑨ 食堂 (44 席)
- ⑩ 玄関ホール
- ⑪ トイレ
男子用 6ヶ所
女子用 6ヶ所
身障者用 2ヶ所
- ⑫ ホール
- ⑬ 講堂 (200 人)
- ⑭ 情報資料室
- ⑮ 研修室 (40 人)

- ⑯～⑲ 実技室
- ⑲ 窯場
- ⑳ 搬出入口
- ㉑ 機械室
- ㉒ エレベーター
- ㉓ 名誉館長室
- ㉔ 館長室
- ㉕ 庶務課
- ㉖ 会議室
- ㉗ 学芸課・普及課
- ㉘ 研究工作室
- ㉙ 収蔵庫
- ㉚ ミュージアムショップ



平成16年度利用案内

■開館時間

開館時間 午前9時から午後4時30分

休館日 ・月曜日（ただし、月曜が祝日のときは
開館し、翌日休館）

・年末年始（12月26日～1月4日）

・展示替え等のため、必要があるとき。

入場料 常設展

一般 300 円 高校・大学生 150 円

小・中学生 無料。

企画展

一般 500 円 高校・大学生 250 円

小・中学生 無料。

団体展 無料。

■交通

★JR（京葉線）・千葉都市モノレール

「千葉みなと」駅下車、徒歩8分。

★JR「千葉」駅・京成線「京成千葉」駅下車

●徒歩23分

●バス⑫番のりばから「千葉ポートタワー」行にて15分。「美術館・中央郵便局前」下車、徒歩1分。

★＜東京方面から＞東関東自動車道「湾岸習志野」
I.Cから約20分。

★＜成田方面から＞京葉道路「穴川」I.Cから
約20分。

★＜東金方面から＞京葉道路「松ヶ丘」I.Cから
約20分。

平成 16 年度

千葉県立美術館年報 (No. 31)

平成 17 年 6 月 30 日発行

発行者

千葉県立美術館

〒 260-0024

千葉市中央区中央港 1-10-1

電話

043 (242) 8311

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>
